

# 令和元年度 第1回市民意識調査 報告書

調査期間:令和元年7月12日(金)～7月26日(金)

## テーマ

- 1 食の安全・安心について
- 2 下水道に対する意識について
- 3 歯・口腔の健康づくりについて

札幌市

# 目 次

1	調査実施の概要	
(1)	目的	2
(2)	項目	2
(3)	設計	2
(4)	回収結果	2
(5)	回答者の属性	2
(6)	集計・分析上の注意事項	3
2	調査結果の詳細	
(1)	食の安全・安心について	
	食品の安全性で関心があること	6
	食品の安全性に関する知識の有無	7
	食品の安全性に関する知識がないと思う理由	8
	食品の安全性に関心がない理由	9
	食の安全・安心の確保のために取り組んでいること	10
	食の安全・安心の確保のための取り組みを行っていない理由	11
	札幌市安全・安心な食のまち推進条例の認知度	12
	安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画の認知度	13
	食品等の自主回収報告制度の認知度	14
	札幌市食品衛生管理認証制度（さっぽろHACCP）の認知度	15
	札幌市食品衛生管理認証制度（さっぽろHACCP）の 内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法	16
	さっぽろ食の安全・安心推進協定の認知度	17
	さっぽろ食の安全・安心推進協定の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法	18
	ロゴマークを貼っている商品や店舗に対する印象	19
	食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報を受け取りたい方法	20
	札幌市が行う取り組みで不足していると思うもの	21
	食品事業者が行う取り組みで不足していると思うもの	22
	札幌の食に対する安全・安心のイメージ	23
	札幌の食に対して安全・安心のイメージを持っていない理由	24
(2)	下水道に対する意識について	
	下水道に対する意識の有無	25
	下水道に関する広報事業の認知度	26
	下水道に関する情報の入手方法	27
	下水道に関する情報を受け取りやすい方法	28
	下水道について関心がある情報	29

(3) 歯・口腔の健康づくりについて	
歯の健康のために気をつけていること -----	30
自身の歯の本数 -----	31
かんで食べる時の状態 -----	32
口腔がんの認知度 -----	33
口腔がんを自分で発見することができることの認知度 -----	34
かかりつけ歯科医の有無 -----	35
かかりつけ歯科医を受診する理由 -----	36
さっぽろ市歯周病検診の認知度 -----	37
さっぽろ市歯周病検診を受診したときの年齢 -----	38
さっぽろ市歯周病検診を受診した理由 -----	39
さっぽろ市歯周病検診を受診しなかった理由 -----	40
後期高齢者歯科健診の認知度 -----	41
後期高齢者歯科健診を受診した理由 -----	42
後期高齢者歯科健診を受診しなかった理由 -----	43
資料：令和元年度第1回市民意識調査票 -----	47



# 調査実施の概要

# 1. 調査実施の概要

## (1) 目的

この調査は、昭和49年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和元年度第1回調査では、「食の安全・安心について」などをテーマとして設問を構成している。

## (2) 項目

- ① 食の安全・安心について
- ② 下水道に対する意識について
- ③ 歯・口腔の健康づくりについて

## (3) 設計

この調査は、次のとおり設計した。

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満18歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 令和元年(2019年)7月12日(金)～7月26日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」  
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

## (4) 回収結果

発送数 5,000  
回収数(率) 2,387 (47.7%)

## (5) 回答者の属性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,387	47.7	900	37.7	1,457	61.0	30	1.3	2,387	100.0
【性別】										
男性	900	37.7	900	100.0	-	-	-	-		100.0
女性	1,457	61.0	-	-	1,457	100.0	-	-		100.0
無回答	30	1.3	-	-	-	-	30	100.0		100.0
【年齢】										
29歳以下	173	7.2	69	39.9	104	60.1	-	-	173	100.0
30歳～39歳	233	9.8	84	36.1	149	63.9	-	-	233	100.0
40歳～49歳	391	16.4	130	33.2	261	66.8	-	-	391	100.0
50歳～59歳	413	17.3	148	35.8	265	64.2	-	-	413	100.0
60歳～69歳	538	22.5	225	41.8	313	58.2	-	-	538	100.0
70歳以上	594	24.9	236	39.7	356	59.9	2	0.3	594	100.0
無回答	45	1.9	8	17.8	9	20.0	28	62.2	45	100.0
【居住区】										
中央区	271	11.4	105	38.7	166	61.3	-	-	271	100.0
北区	328	13.7	122	37.2	206	62.8	-	-	328	100.0
東区	292	12.2	110	37.7	182	62.3	-	-	292	100.0
白石区	252	10.6	90	35.7	162	64.3	-	-	252	100.0
厚別区	187	7.8	71	38.0	116	62.0	-	-	187	100.0
豊平区	249	10.4	102	41.0	147	59.0	-	-	249	100.0
清田区	136	5.7	54	39.7	82	60.3	-	-	136	100.0
南区	187	7.8	77	41.2	110	58.8	-	-	187	100.0
西区	269	11.3	97	36.1	170	63.2	2	0.7	269	100.0
手稲区	170	7.1	63	37.1	107	62.9	-	-	171	100.0
無回答	46	1.9	9	19.6	9	19.6	28	60.9	46	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,387	47.7	900	37.7	1,457	61.0	30	1.3	2,387	100.0
<b>【職業】</b>										
会社役員	76	3.2	53	69.7	23	30.3	-	-	76	100.0
会社員	577	24.2	324	56.2	253	43.8	-	-	577	100.0
公務員	99	4.1	65	65.7	34	34.3	-	-	99	100.0
自営業	101	4.2	59	58.4	42	41.6	-	-	101	100.0
パート・アルバイト	368	15.4	65	17.7	302	82.1	1	0.3	368	100.0
主婦・主夫	520	21.8	2	0.4	518	99.6	-	-	520	100.0
学生	43	1.8	21	48.8	22	51.2	-	-	43	100.0
無職	474	19.9	269	56.8	204	43.0	1	0.2	474	100.0
その他	77	3.2	35	45.5	42	54.5	-	-	77	100.0
無回答	52	2.2	7	13.5	17	32.7	28	53.8	52	100.0
<b>【世帯構成】</b>										
自分1人または友人と同居など単身世帯	384	16.1	143	37.2	241	62.8	-	-	384	100.0
夫婦2人だけの一世帯世帯	793	33.2	346	43.6	445	56.1	2	0.3	793	100.0
親と子の二世帯世帯	920	38.5	329	35.8	591	64.2	-	-	920	100.0
親と子と孫の三世帯世帯	95	4.0	27	28.4	68	71.6	-	-	95	100.0
その他	141	5.9	45	31.9	96	68.1	-	-	141	100.0
無回答	54	2.3	10	18.5	16	29.6	28	51.9	54	100.0
<b>【同居家族】</b>										
配偶者	1,454	60.9	604	41.5	849	58.4	1	0.1	1,454	100.0
乳幼児	82	3.4	29	35.4	53	64.6	-	-	82	100.0
就学前児童	106	4.4	44	41.5	62	58.5	-	-	106	100.0
小学生	191	8.0	67	35.1	124	64.9	-	-	191	100.0
中学生	112	4.7	35	31.3	77	68.8	-	-	112	100.0
高校生	159	6.7	42	26.4	117	73.6	-	-	159	100.0
大学(院)・専門学校生	125	5.2	39	31.2	86	68.8	-	-	125	100.0
65才以上の高齢者	328	13.7	111	33.8	216	65.9	1	0.3	328	100.0
上記以外	467	19.6	156	33.4	311	66.6	-	-	467	100.0
いない	340	14.2	142	41.8	198	58.2	-	-	340	100.0
無回答	140	5.9	34	24.3	78	55.7	28	20.0	140	100.0

## (6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数点第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。



## 調査結果の詳細

## 2. 調査結果の詳細

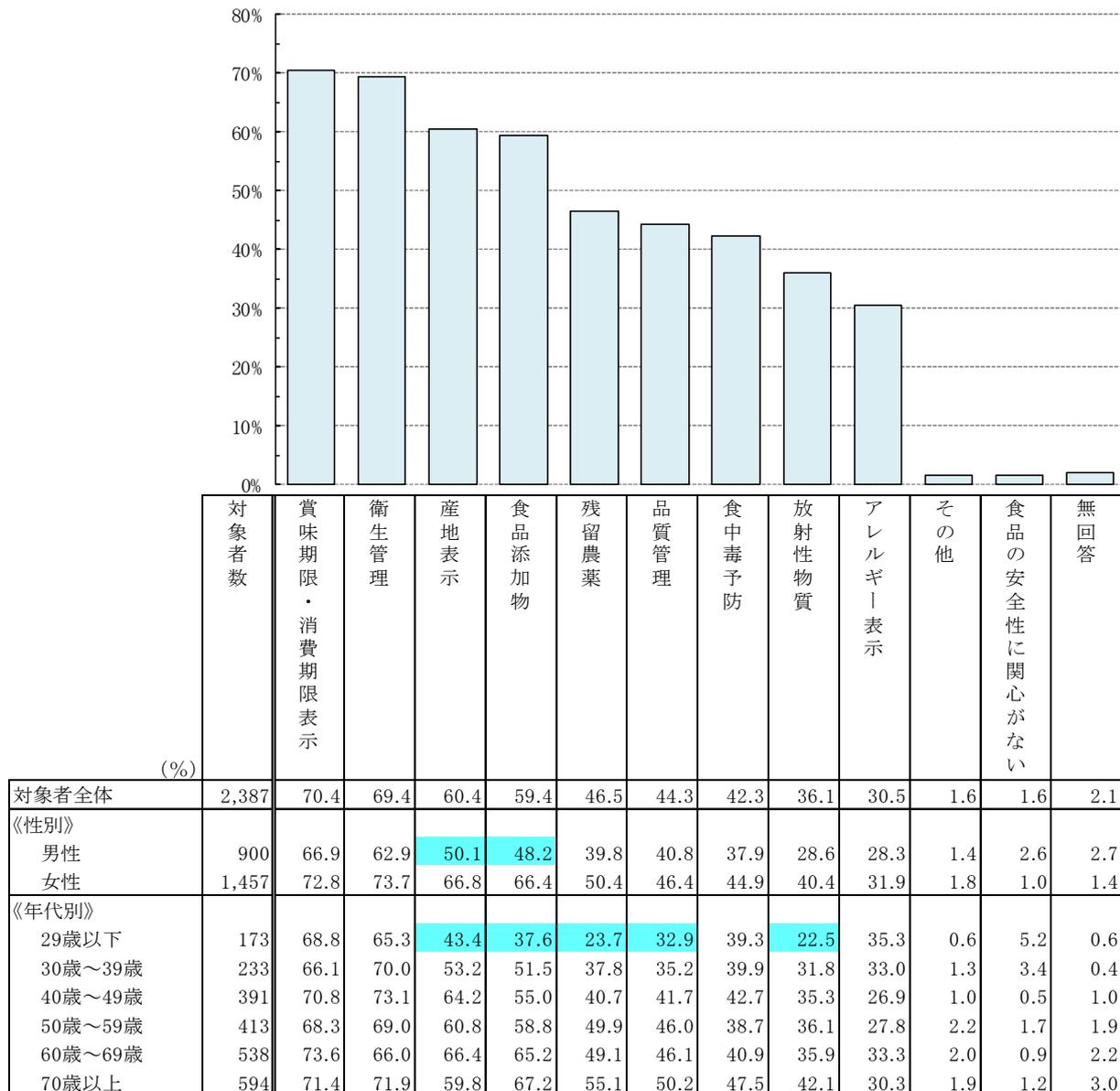
### (1) 食の安全・安心について

#### 食品の安全性で関心があること

【問1】 あなたが、食品の安全性で関心があることについて、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

食品の安全性のうち、「賞味期限・消費期限表示」に関心がある人は 70.4%

対象者全体(N=2,387)



対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】食品の安全性で関心があることは、「賞味期限・消費期限表示」が70.4%と最も高く、次いで「衛生管理」が69.4%、「産地表示」が60.4%となっている。一方で、「食品の安全性に関心がない」が1.6%となっている。

【性別】全ての項目の割合において、女性が男性より高くなっている。その中でも「産地表示」、「食品添加物」は、女性が男性より15.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】29歳以下と60歳代では「賞味期限・消費期限表示」が、30歳代、40歳代、50歳代、70歳以上では「衛生管理」が最も高くなっている。

## 食品の安全性に関する知識の有無

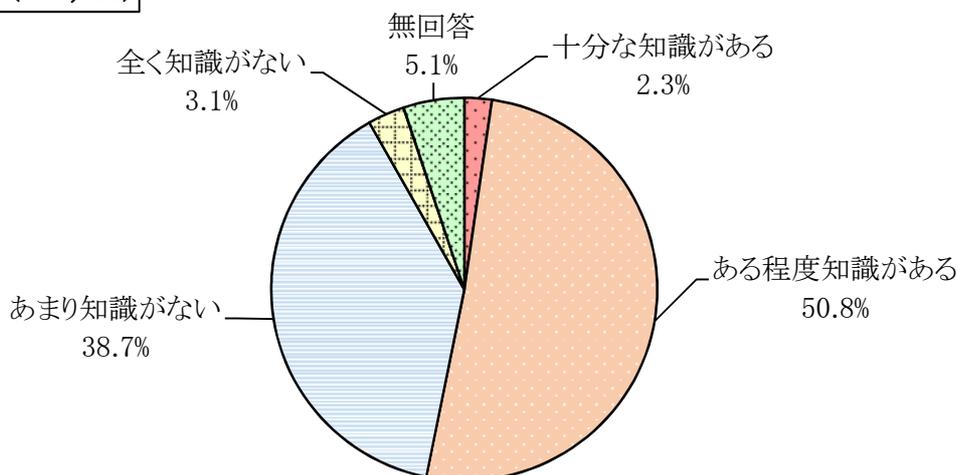
《問1で「1 衛生管理」から「10 その他」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

【問1-1】 あなたは、食品の安全性に関する知識があると思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

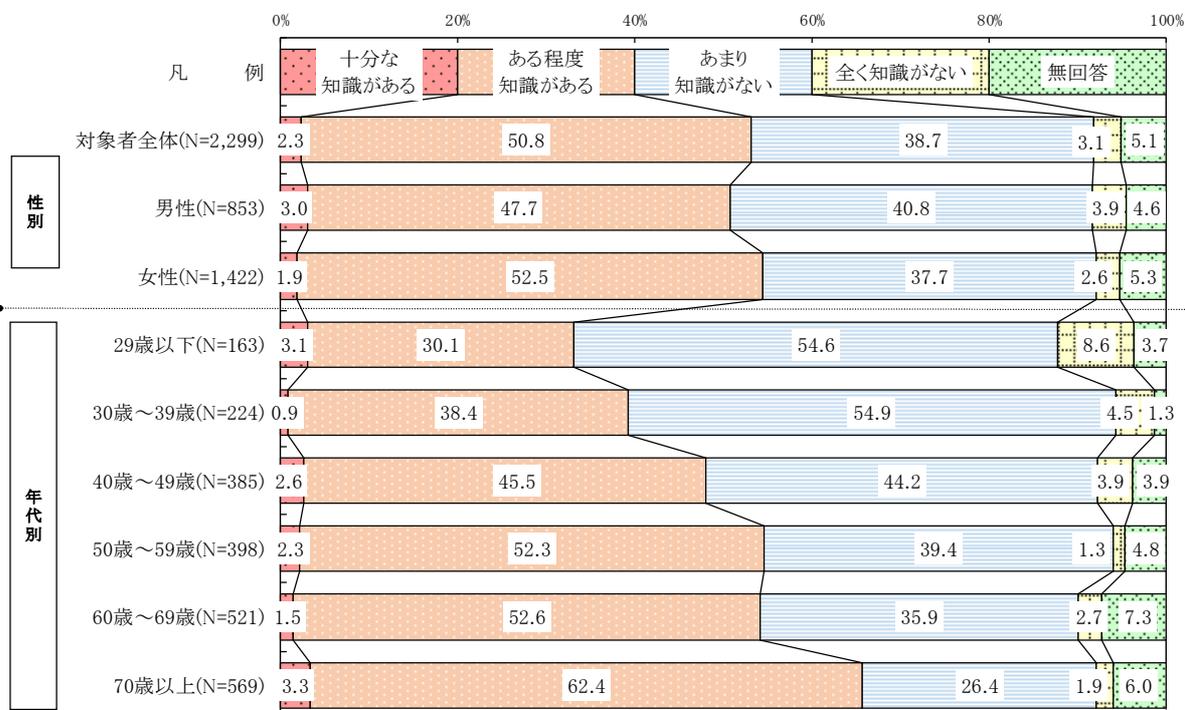
食品の安全性について“知識がある”と回答した人は 53.2%

※“知識がある”（「十分な知識がある」+「ある程度知識がある」）

対象者全体(N=2,299)



【対象者全体】食品の安全性について、「十分な知識がある」が 2.3%、「ある程度知識がある」が 50.8%、合わせると 53.2%となっている。一方で、「あまり知識がない」が 38.7%、「全く知識がない」が 3.1%、合わせると 41.8%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

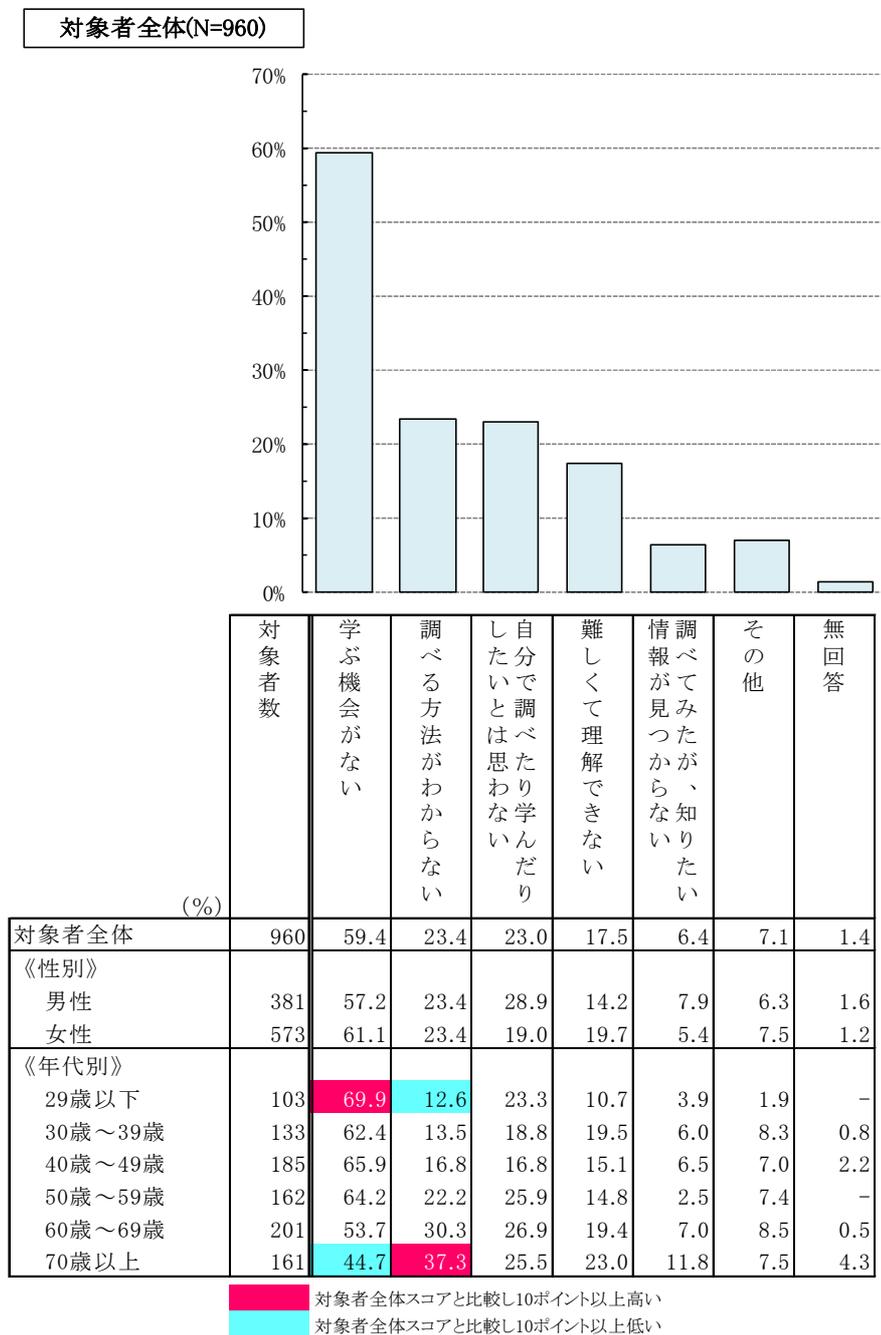
【年代別】“知識がある”が70歳以上(65.7%)で最も高く、次いで50歳代(54.5%)、60歳代(54.1%)となっている。

## 食品の安全性に関する知識がないと思う理由

《問1-1で「3 あまり知識がない」または「4 全く知識がない」と答えた方にお聞きします。》

【問1-2】 あなたが、食品の安全性に関する知識がないと思う理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

知識がないと思う理由は、「学ぶ機会がない」と回答した人が 59.4%



【対象者全体】食品の安全性に関する知識がないと思う理由は、「学ぶ機会がない」が 59.4%と最も高く、次いで「調べる方法がわからない」が 23.4%、「自分で調べたり学んだりしたいと思わない」が 23.0%となっている。

【性別】「自分で調べたり学んだりしたいと思わない」が男性で 28.9%と、女性の 19.0%より 9.9 ポイント高くなっている。また、「難しく理解できない」が女性で 19.7%と、男性の 14.2%より 5.5 ポイント高くなっている。

【年代別】「学ぶ機会がない」が 29 歳以下(69.9%)で最も高く、最も低い 70 歳以上(44.7%)と比べると 25.2 ポイントの差となっている。また、「調べる方法がわからない」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

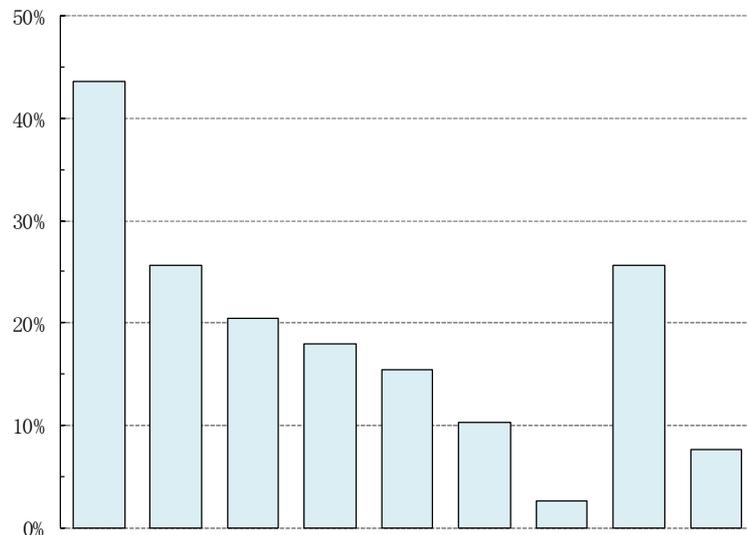
## 食品の安全性に関心がない理由

《問1-1で「11 食品の安全性に関心がない」と答えた方にお聞きします。》

【問1-3】 あなたが、食品の安全性に関心がない理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

関心がない理由は、「実生活で困ったことがないから」と回答した人が 43.6%

対象者全体(N=39)



対象者数	か ら	実 生 活 で 困 っ た こ と が な い	食 中 毒 ・ 食 あ た り な ど の 被 害 に あ っ た 経 験 が な い か ら	お い し さ や 価 格 を 優 先 す る か ら	食 品 の 生 産 者 や 製 造 者 を 信 頼 し て い る か ら	ア レ ル ギ ー な ど の 健 康 面 で の 心 配 が な い か ら	行 政 の 安 全 性 審 査 を 信 頼 し て い る か ら	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
(%)										
対象者全体	39	43.6	25.6	20.5	17.9	15.4	10.3	2.6	25.6	7.7
《性別》										
男性	23	34.8	21.7	17.4	26.1	13.0	13.0	4.3	30.4	4.3
女性	15	60.0	33.3	26.7	6.7	20.0	6.7	-	20.0	6.7
《年代別》										
29歳以下	9	62.5	50.0	50.0	25.0	62.5	25.0	-	-	-
30歳～39歳	8	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	12.5	12.5	12.5
40歳～49歳	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
50歳～59歳	7	42.9	28.6	-	14.3	14.3	14.3	-	42.9	14.3
60歳～69歳	5	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	60.0	-
70歳以上	7	42.9	14.3	14.3	14.3	-	-	-	28.6	-

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】食品の安全性に関心がない理由は、「実生活で困ったことがないから」が 43.6%と最も高く、次いで「食中毒・食あたりなどの被害にあった経験がないから」が 25.6%、「おいしさや価格を優先するから」が 20.5%となっている。

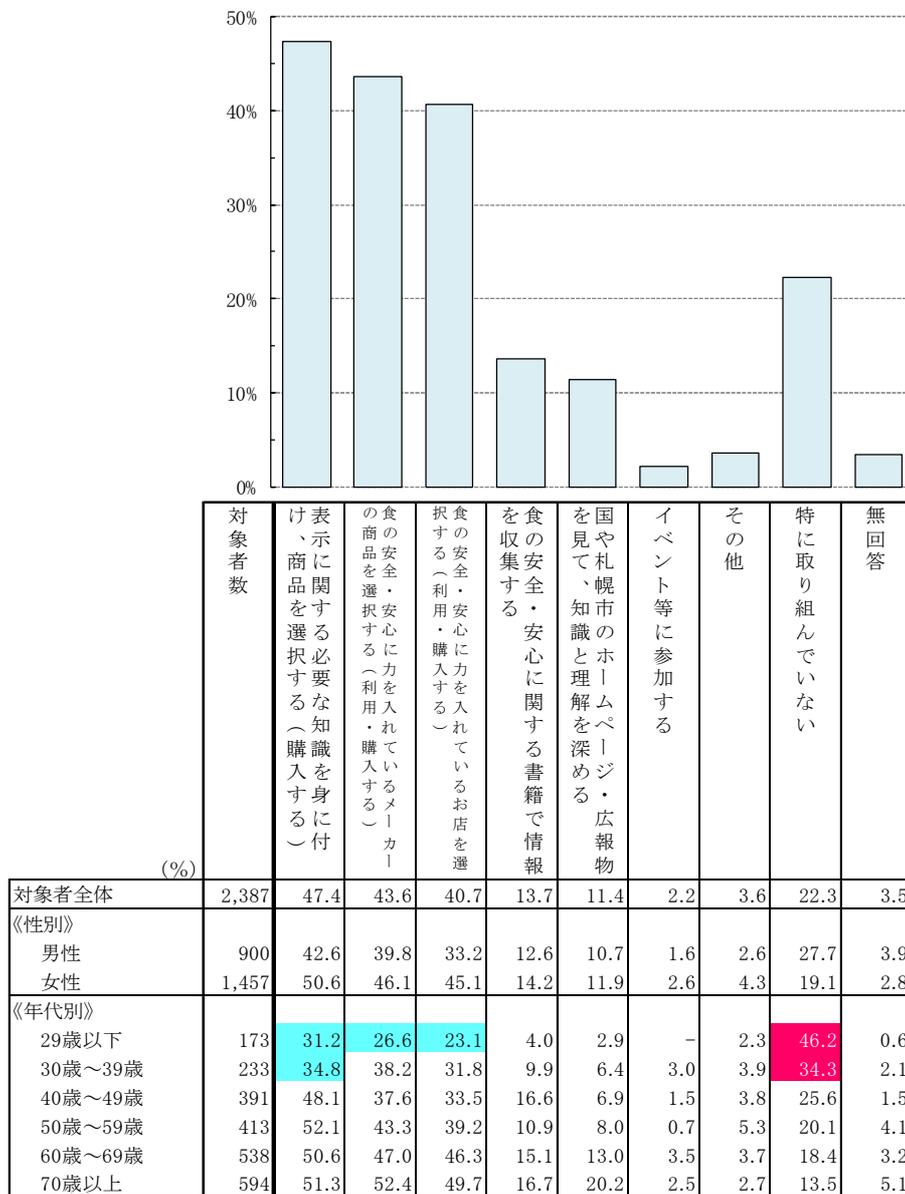
【性別】「実生活で困ったことがないから」が女性で 60.0%と、男性の 34.8%より 25.2 ポイント高くなっている。また、「食品の生産者や製造者を信頼しているから」が男性で 26.1%と、女性の 6.7%より 19.4 ポイント高くなっている。

## 食の安全・安心の確保のために取り組んでいること

【問2】 あなたが、食の安全・安心の確保のために取り組んでいることに、次の中からいくつでも○をつけてください。

食の安全・安心の確保のため、「表示に関する必要な知識を身につけ、商品を選択する(購入する)」人が47.4%

対象者全体(N=2,387)



対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い  
対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】食の安全・安心の確保のために取り組んでいることは、「表示に関する必要な知識を身につけ、商品を選択する」が47.4%と最も高く、次いで「食の安全・安心に力を入れているメーカーの商品を選択する」が43.6%、「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する」が40.7%となっている。

【性別】取り組んでいることに関しては、どの項目においても、女性が男性より割合が高くなっている。その中でも「表示に関する必要な知識を身につけ、商品を選択する」、「食の安全・安心に力を入れているメーカーの商品を選択する」、「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

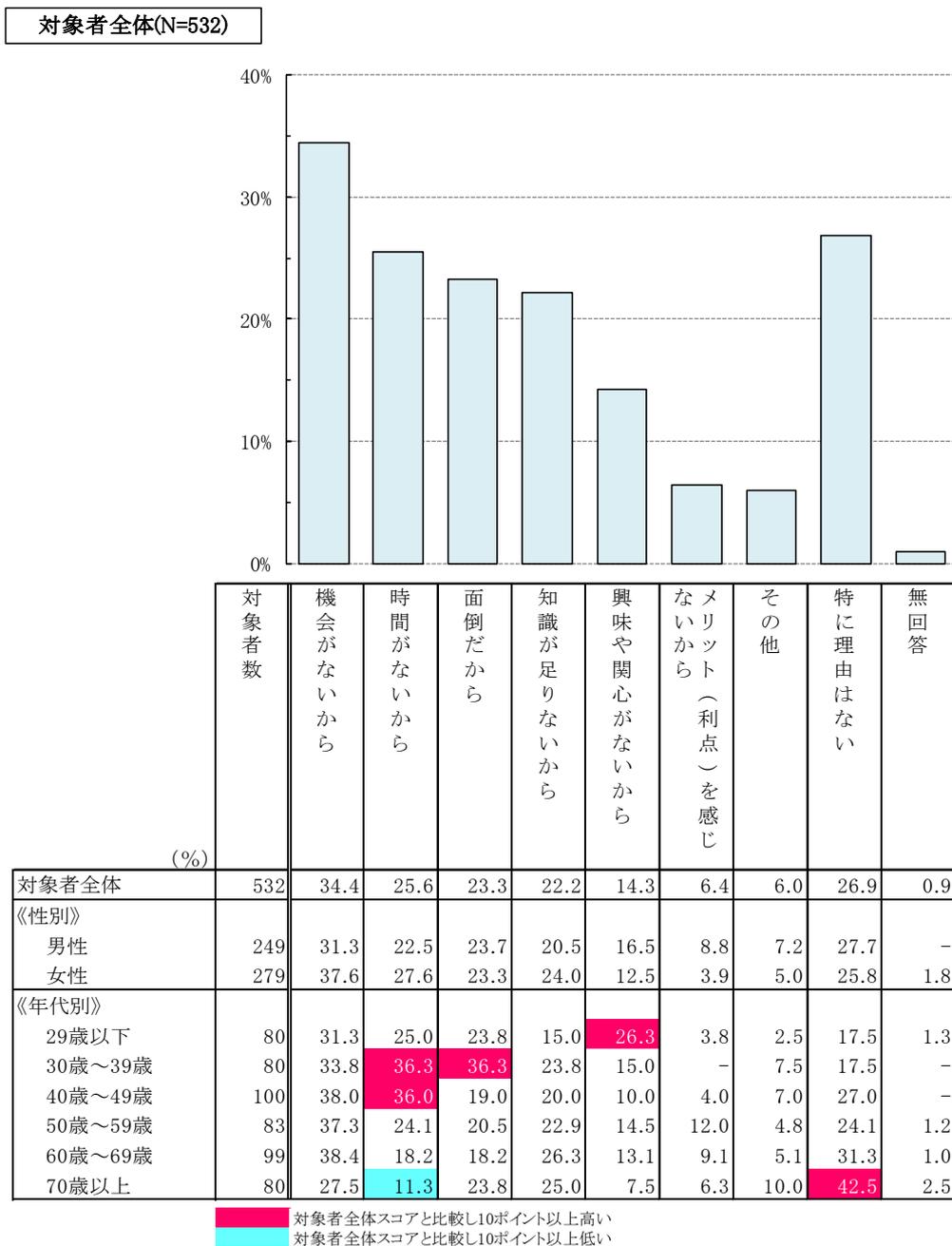
【年代別】「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

## 食の安全・安心の確保のための取り組みを行っていない理由

《問2で「8 特に取り組んでいない」と答えた方にお聞きします。》

【問2-1】 あなたが、食の安全・安心のための取り組みを行っていない理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

取り組みを行っていない理由は、「機会がないから」と回答した人が 34.4%



【対象者全体】食の安全・安心の確保のための取り組みを行っていない理由は、「機会がないから」が34.4%と最も高く、次いで「時間がないから」が25.6%、「面倒だから」が23.3%となっている。

【性別】「機会がないから」、「時間がないから」は女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

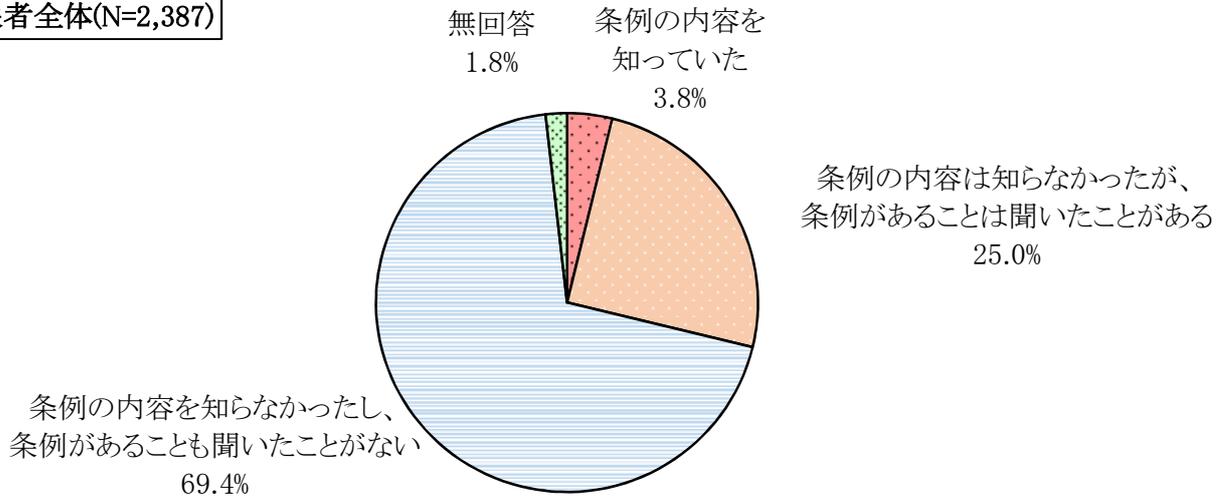
【年代別】「面倒だから」が30歳代(36.3%)で最も高く、最も低い60歳代(18.2%)と比べると18.1ポイントの差となっている。

## 札幌市安全・安心な食のまち推進条例の認知度

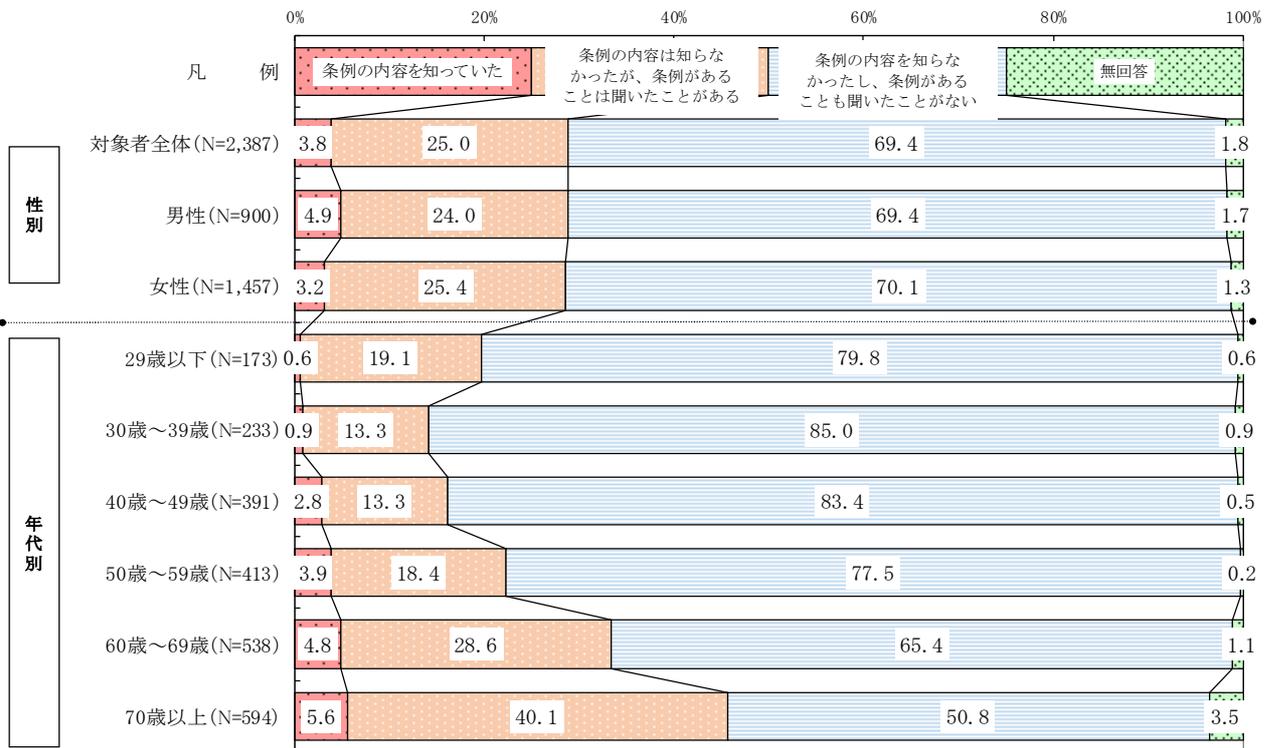
【問3】 あなたは、「札幌市安全・安心な食のまち推進条例」を知っていましたか。

札幌市安全・安心な食のまち推進条例について、「条例の内容を知っていた」人は 3.8%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】札幌市安全・安心な食のまち推進条例について、「条例の内容を知っていた」は 3.8%、「条例の内容は知らなかったが、条例があることは聞いたことがある」が 25.0%となっている。一方で、「条例の内容を知らなかったし、条例があることも聞いたことがない」が 69.4%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

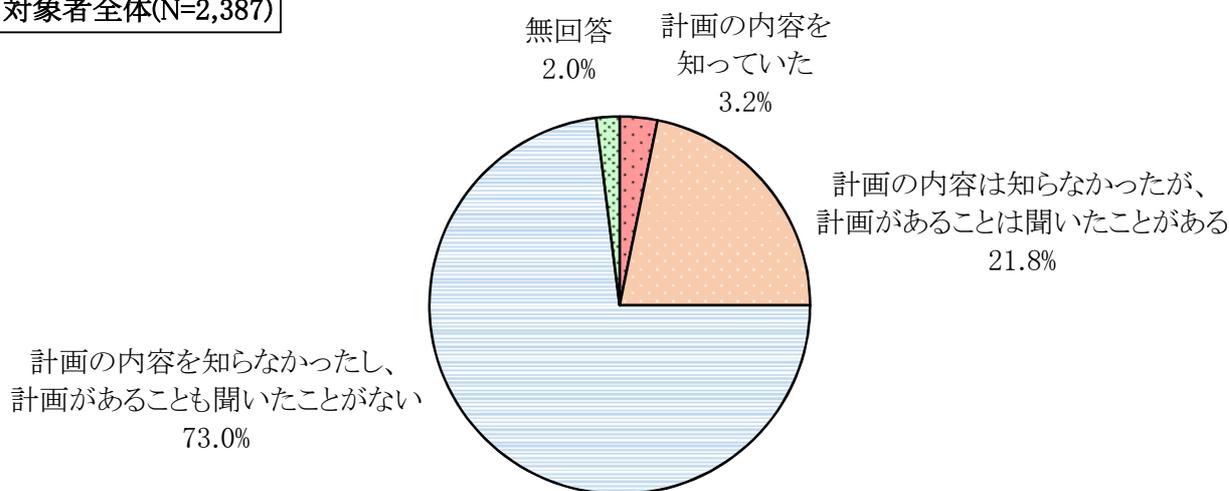
【年代別】「条例の内容を知っていた」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

## 安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画の認知度

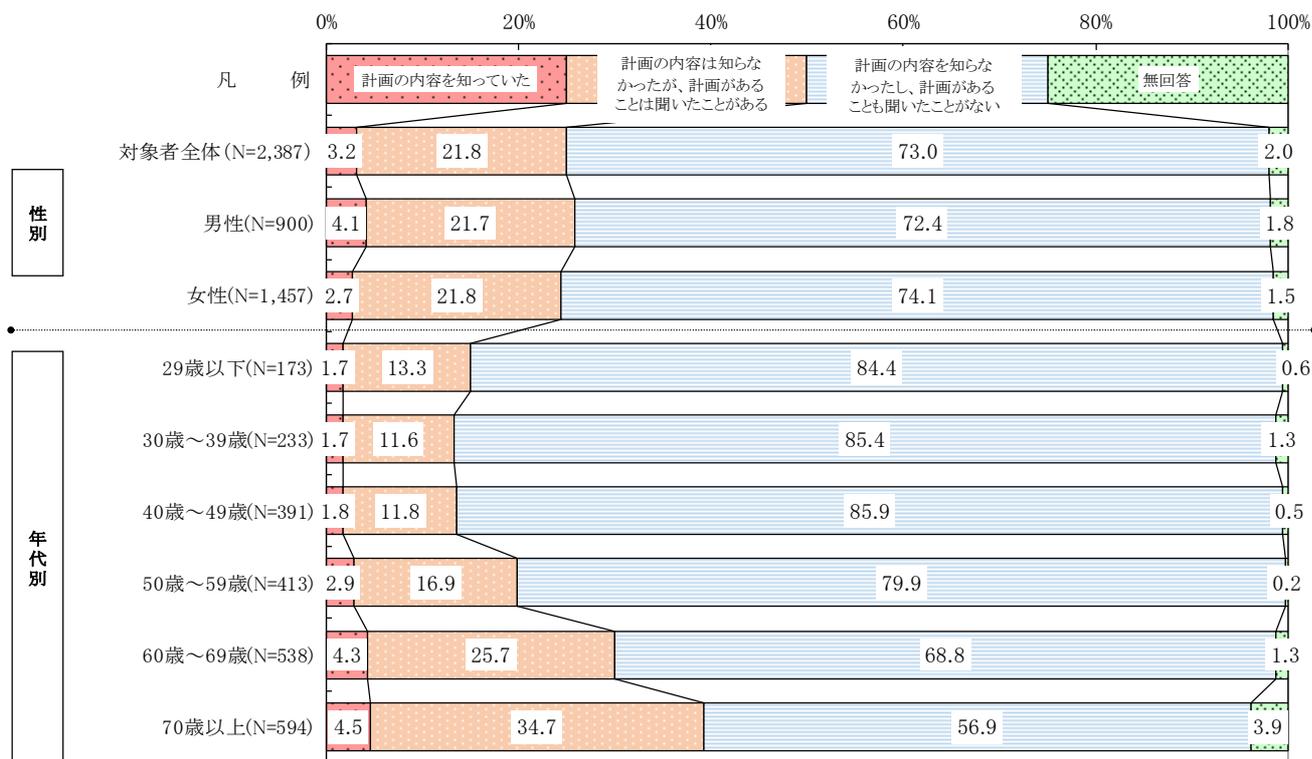
【問4】 あなたは、「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画」を知っていましたか。

安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画について、「計画の内容を知っていた」人は 3.2%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画について、「計画の内容を知っていた」が 3.2%、「計画の内容は知らなかったが、計画があることは聞いたことがある」が 21.8%となっている。一方で、「計画の内容を知らなかったし、計画があることも聞いたことがない」が 73.0%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

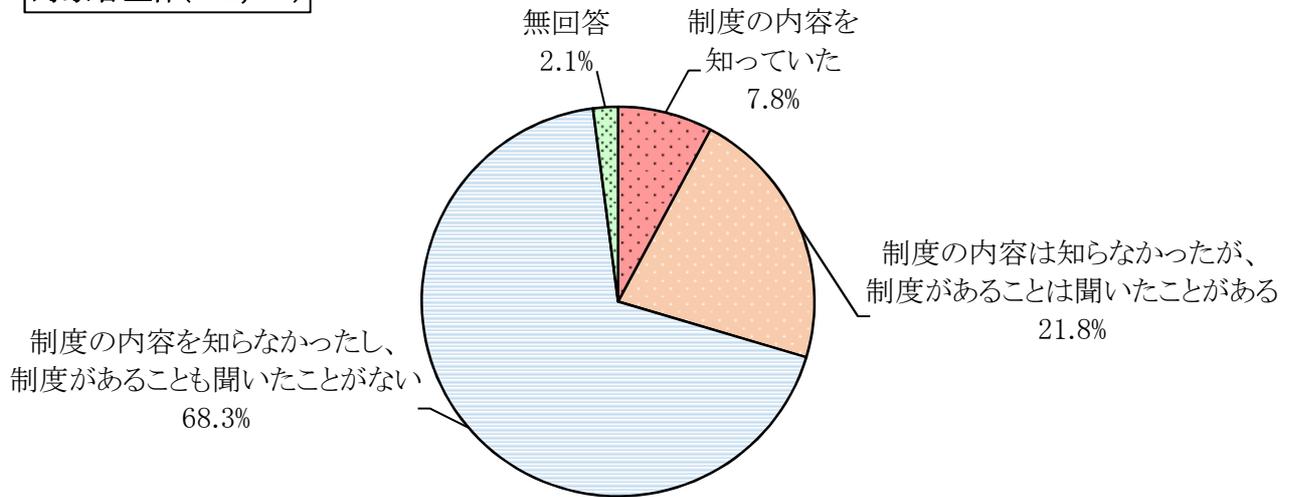
【年代別】「計画の内容を知っていた」が 70 歳以上 (4.5%) で最も高く、次いで 60 歳代 (4.3%)、50 歳代 (2.9%) となっている。

## 食品等の自主回収報告制度の認知度

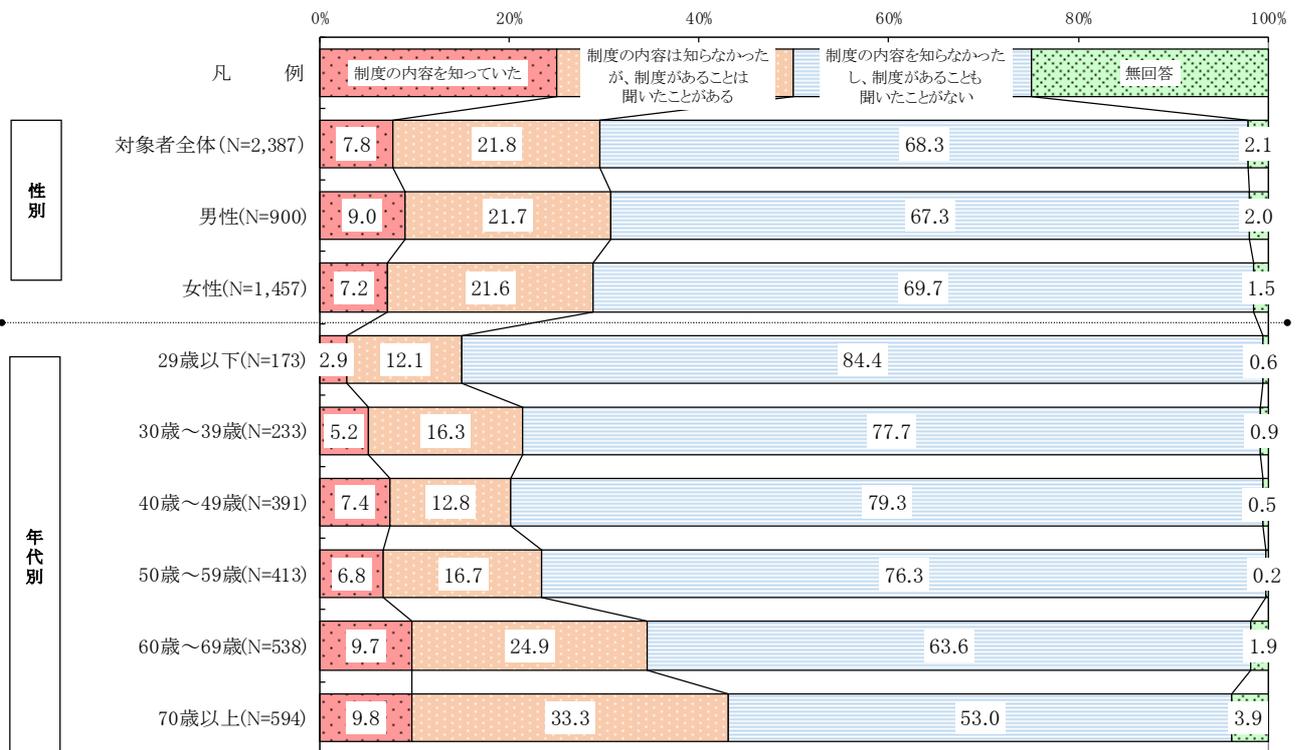
【問5】 あなたは、「食品等の自主回収報告制度」を知っていましたか。

食品等の自主回収報告制度について、「制度の内容を知っていた」人は 7.8%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】食品等の自主回収報告制度について、「制度の内容を知っていた」が 7.8%、「制度の内容は知らなかったが、制度があることは聞いたことがある」が 21.8%となっている。一方で、「制度の内容を知らなかったし、制度があることも聞いたことがない」が 68.3%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「制度の内容を知っていた」が 70 歳以上(9.8%)で最も高く、次いで 60 歳代(9.7%)、40 歳代(7.4%)となっている。

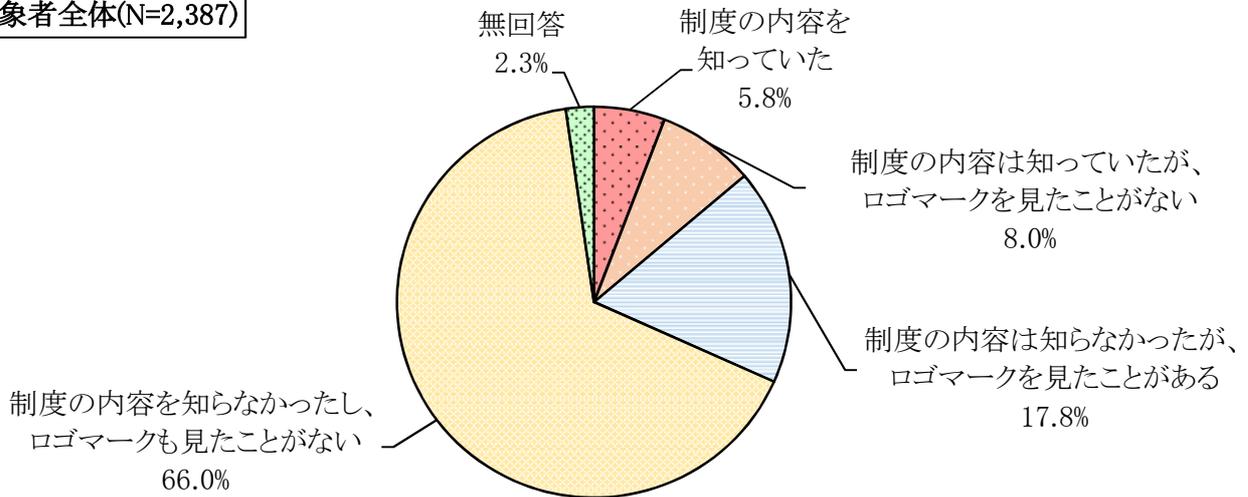
## 札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)の認知度

【問6】 あなたは、「札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)」を知っていましたか。

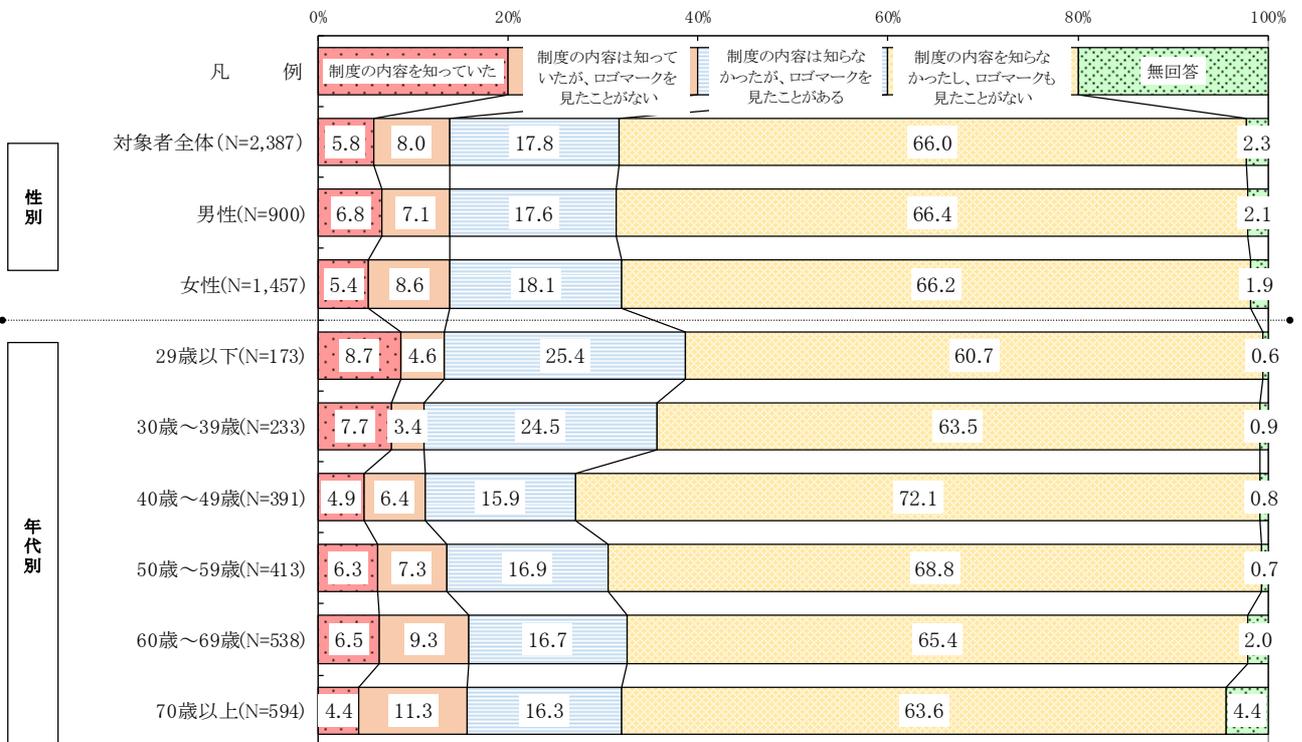
札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)について、“制度の内容を知っていた”人は13.8%

※“制度の内容を知っていた”(「制度の内容を知っていた」+「制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」)

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)について、「制度の内容を知っていた」が 5.8%、「制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」が 8.0%となっている。一方で、「制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」が 17.8%、「制度の内容を知らなかったし、ロゴマークも見なかった」が 66.0%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“制度の内容を知っていた”が 60 歳代(15.8%)で最も高く、次いで 70 歳以上(15.7%)、50 歳代(13.6%)となっている

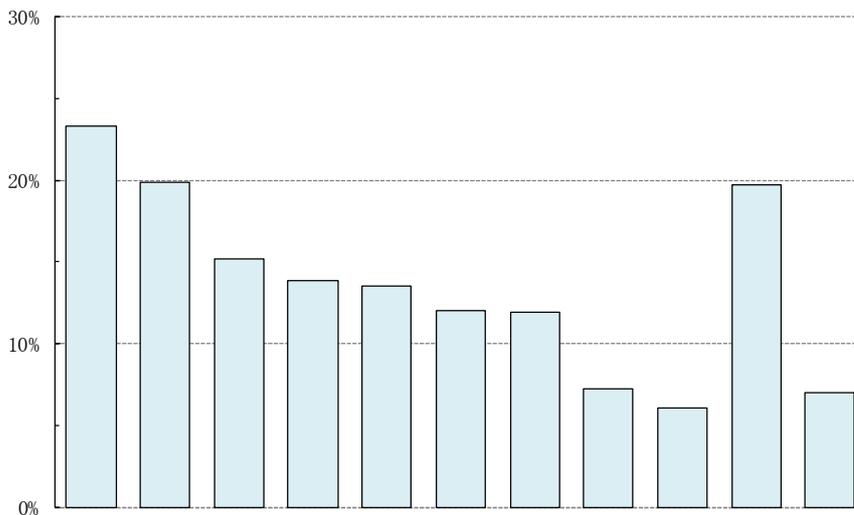
## 札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法

《問6で「1 制度の内容を知っていた」「2 制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」「3 制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

【問6-1】 あなたが、制度を知った又はロゴマークを見た場所や方法について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法として、「市が発行するパンフレット」と回答した人が23.3%

対象者全体(N=756)



(%)	対象者数	市が発行するパンフレット	食品関連施設	情報誌(ポロコなど)	札幌市ホームページ	さっぽろオータムフェスト	札幌駅前通地下広場(チカホ)	地下鉄電照広告	食品事業者ホームページ	その他	覚えていない	無回答
対象者全体	756	23.3	19.8	15.2	13.9	13.5	12.0	11.9	7.3	6.1	19.7	7.0
《性別》												
男性	283	24.0	21.2	13.1	16.3	12.0	8.8	10.6	11.3	6.7	18.7	5.3
女性	466	22.7	19.3	16.7	12.0	14.6	13.9	12.4	4.7	5.8	20.2	8.2
《年代別》												
29歳以下	67	6.0	16.4	6.0	11.9	17.9	20.9	22.4	1.5	9.0	28.4	4.5
30歳~39歳	83	9.6	21.7	22.9	7.2	22.9	15.7	18.1	6.0	6.0	16.9	4.8
40歳~49歳	106	14.2	22.6	13.2	13.2	12.3	10.4	7.5	8.5	6.6	34.0	2.8
50歳~59歳	126	15.9	23.8	18.3	7.1	19.0	9.5	15.1	11.1	7.1	19.8	4.0
60歳~69歳	175	38.9	25.1	20.6	12.6	10.3	12.6	9.7	9.1	6.9	13.1	5.7
70歳以上	190	31.1	12.1	10.0	22.6	7.9	10.0	7.9	4.2	3.7	15.8	14.7

■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い  
■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法は、「市が発行するパンフレット」が23.3%と最も高く、次いで「食品関連施設」が19.8%、「情報誌(ポロコなど)」が15.2%となっている。

【性別】「札幌駅前通地下広場(チカホ)」が女性で13.9%と、男性の8.8%より5.1ポイント高くなっている。また、「食品事業者ホームページ」が男性で11.3%と、女性の4.7%より6.6ポイント高くなっている。

【年代別】「市が発行するパンフレット」が60歳代(38.9%)と最も高く、最も低い29歳以下(6.0%)と比べると32.9ポイントの差となっている。

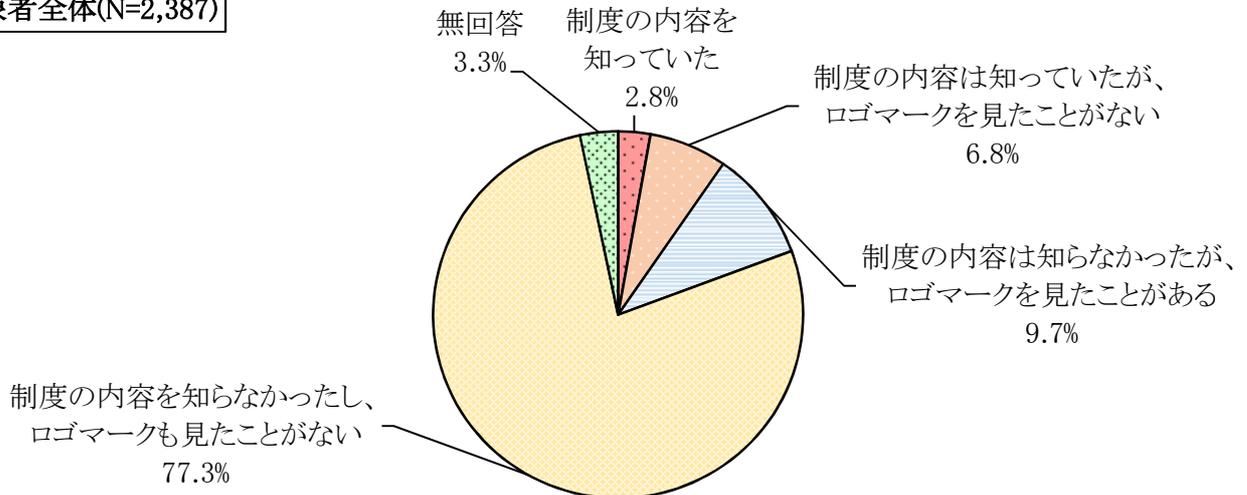
## さっぽろ食の安全・安心推進協定の認知度

【問7】 あなたは、「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を知っていましたか。

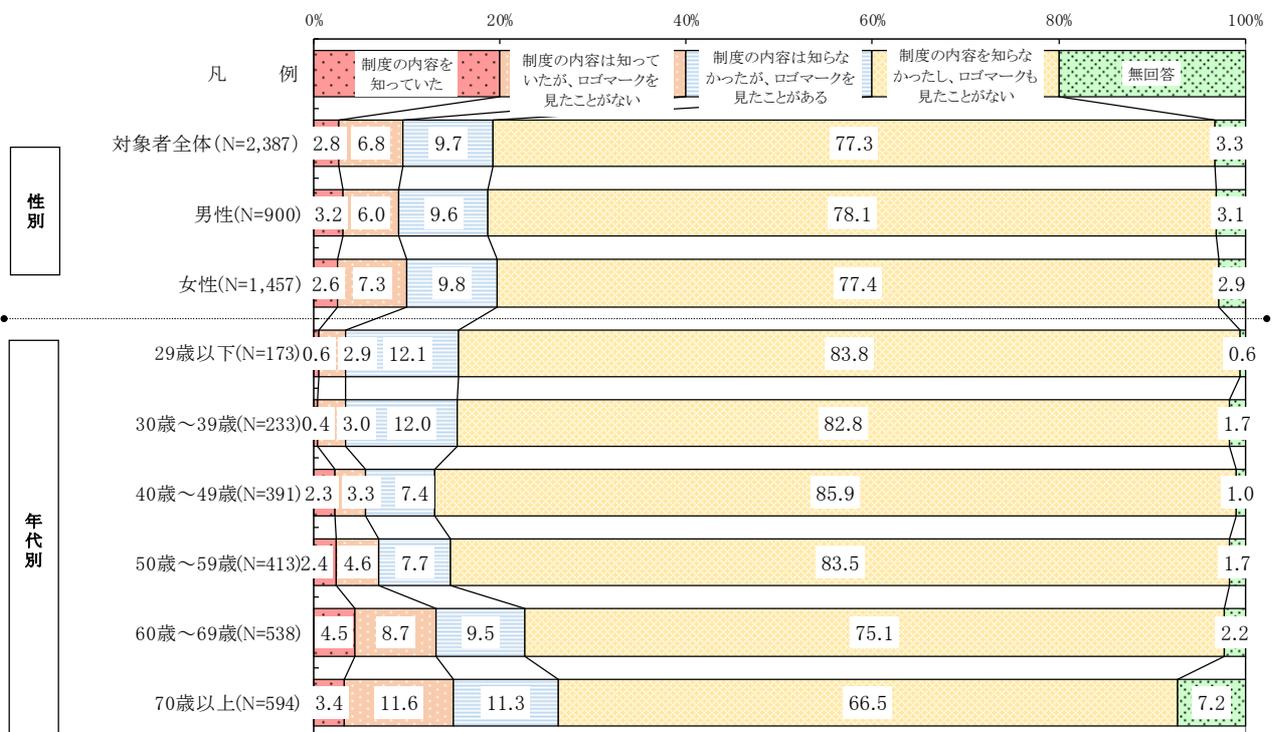
さっぽろ食の安全・安心推進協定について、“制度の内容を知っていた”人は9.6%

※“制度の内容を知っていた”（「制度の内容を知っていた」+「制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」）

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】さっぽろ食の安全・安心推進協定について、「制度の内容を知っていた」が 2.8%、「制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」が 6.8%となっている。一方で、「制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」が 9.7%、「制度の内容を知らなかったし、ロゴマークも見なかった」が 77.3%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“制度の内容を知っていた”が 70 歳以上(15.0%)で最も高く、次いで 60 歳代(13.2%)、50 歳代(7.0%)となっている。

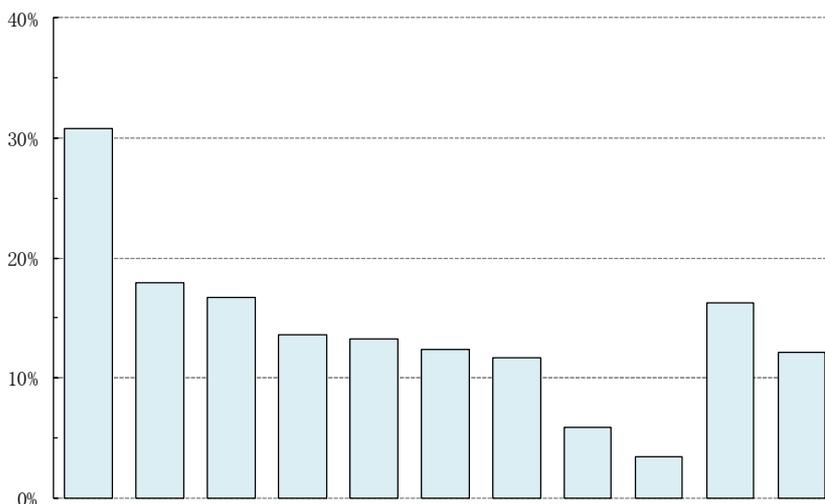
## さっぽろ食の安全・安心推進協定の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法

《問7で「1 制度の内容を知っていた」「2 制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」「3 制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

【問7-1】 あなたが、制度を知った又はロゴマークを見た場所や方法について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

さっぽろ食の安全・安心推進協定の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法として、「市が発行するパンフレット」と回答した人が 30.7%

対象者全体(N=462)



対象者数	市が発行するパンフレット	札幌市ホームページ	食品関連施設	情報誌 (ポロコなど)	札幌駅前通地下広場 (チカホ)	さっぽろオータムフェスト	地下鉄電照広告	食品事業者ホームページ	その他	覚えていない	無回答	
(%)												
対象者全体	462	30.7	18.0	16.7	13.6	13.2	12.3	11.7	5.8	3.5	16.2	12.1
《性別》												
男性	169	32.5	20.1	21.3	13.0	10.7	13.6	10.1	9.5	3.6	13.6	10.7
女性	288	29.5	16.3	14.2	14.2	14.6	11.8	12.5	3.8	3.5	17.0	13.2
《年代別》												
29歳以下	27	7.4	11.1	18.5	3.7	18.5	14.8	18.5	3.7	-	33.3	7.4
30歳～39歳	36	8.3	11.1	25.0	19.4	13.9	25.0	11.1	2.8	2.8	22.2	5.6
40歳～49歳	51	9.8	17.6	15.7	13.7	13.7	15.7	9.8	7.8	5.9	29.4	5.9
50歳～59歳	61	27.9	11.5	21.3	13.1	16.4	16.4	24.6	8.2	1.6	14.8	3.3
60歳～69歳	122	45.1	23.8	20.5	17.2	13.9	12.3	9.8	8.2	5.7	9.8	9.0
70歳以上	156	37.2	19.2	10.9	12.2	10.3	6.4	8.3	3.8	2.6	11.5	22.4

■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い  
 ■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】さっぽろ食の安全・安心推進協定の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法について、「市が発行するパンフレット」が 30.7%と最も高く、次いで「札幌市ホームページ」が 18.0%、「食品関連施設」が 16.7%となっている。

【性別】「食品関連施設」が男性で 21.3%と、女性の 14.2%より 7.1 ポイント高くなっている。

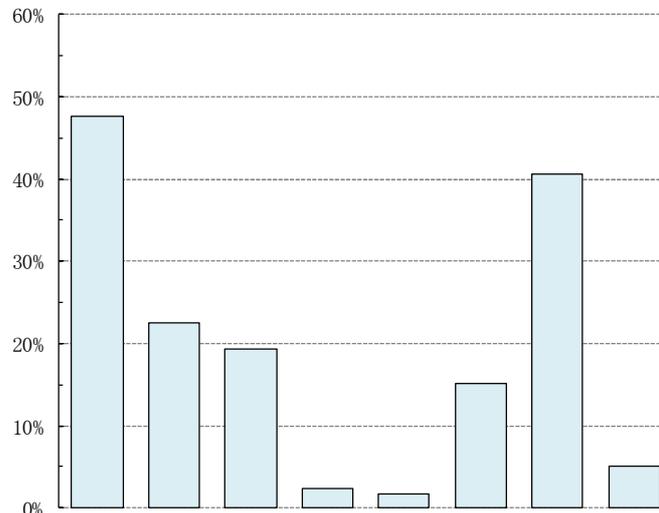
【年代別】「市が発行するパンフレット」が 60 歳代 (45.1%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (7.4%) と比べると 37.7 ポイントの差となっている。

## ロゴマークを貼っている商品や店舗に対する印象

【問8】 あなたが、これらのロゴマークを貼っている商品や店舗に対して持つ印象として、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

ロゴマークを貼っている商品や店舗に、「安全性について信頼できる」という印象を持っている人は47.6%

対象者全体(N=2,387)



対象者数	安全性について信頼できる	優先的に利用・購入したい	厳正な安全性審査を通過している	おいしそう	その他	特に印象がない	ロゴマークを見たことがない	無回答	
(%)									
対象者全体	2,387	47.6	22.5	19.3	2.3	1.8	15.2	40.6	5.1
《性別》									
男性	900	44.3	21.1	18.2	2.4	1.3	18.3	42.8	4.0
女性	1,457	49.9	23.7	20.1	2.3	2.1	13.2	39.5	5.1
《年代別》									
29歳以下	173	45.7	13.3	21.4	4.6	0.6	16.8	31.8	2.3
30歳～39歳	233	45.1	14.6	17.6	3.4	2.6	20.2	35.6	4.3
40歳～49歳	391	47.8	18.7	19.7	3.6	1.8	16.4	38.9	1.8
50歳～59歳	413	48.2	22.0	17.4	2.2	2.4	17.2	42.9	2.4
60歳～69歳	538	48.9	23.2	21.7	1.1	1.9	13.2	45.2	4.6
70歳以上	594	48.5	31.8	18.9	1.9	1.2	12.1	40.4	8.9

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い  
対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】ロゴマークを貼っている商品や店舗に対する印象は、「安全性について信頼できる」が47.6%と最も高く、次いで「優先的に利用・購入したい」が22.5%、「厳正な安全性審査を通過している」が19.3%となっている。

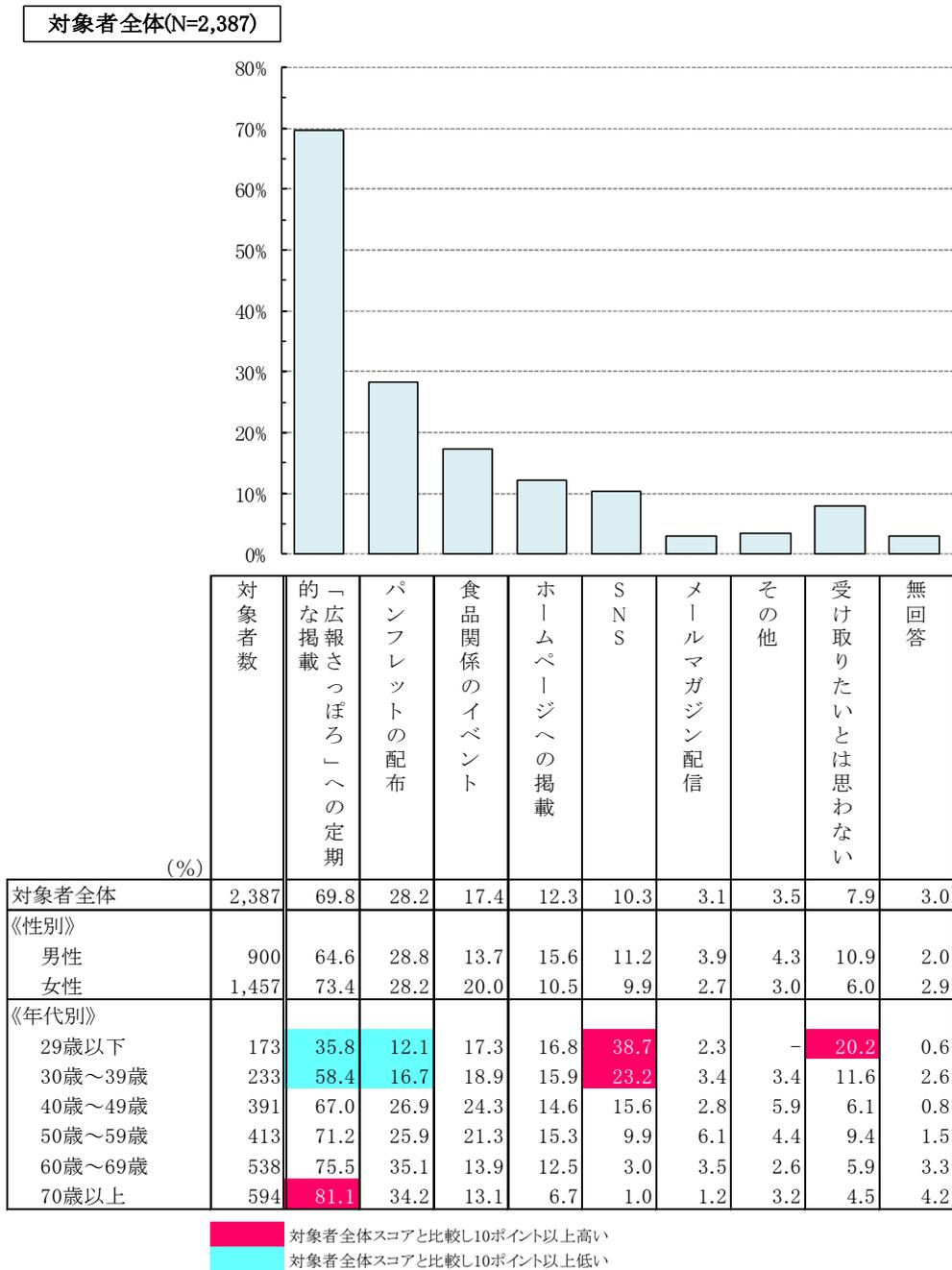
【性別】「安全性について信頼できる」が女性で49.9%と、男性の44.3%より5.6ポイント高くなっている。

【年代別】「安全性について信頼できる」が60歳代(48.9%)で最も高く、次いで70歳以上(48.5%)、50歳代(48.2%)となっている。

## 食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報を受け取りたい方法

【問9】 食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報について、あなたが受け取りたいと思う方法に、次の中からいくつでも○をつけてください。

食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報を受け取りたい方法として、「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」と回答した人が 69.8%



【対象者全体】食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報を受け取りたい方法は、「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」が 69.8%と最も高く、次いで「パンフレットの配布」が 28.2%、「食品関係のイベント」が 17.4%となっている。

【性別】「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」、「食品関係のイベント」は女性が男性より 5.0 ポイント以上高くなっている。また、「ホームページの掲載」は男性で 15.6%と、女性の 10.5%より 5.1 ポイント高くなっている。

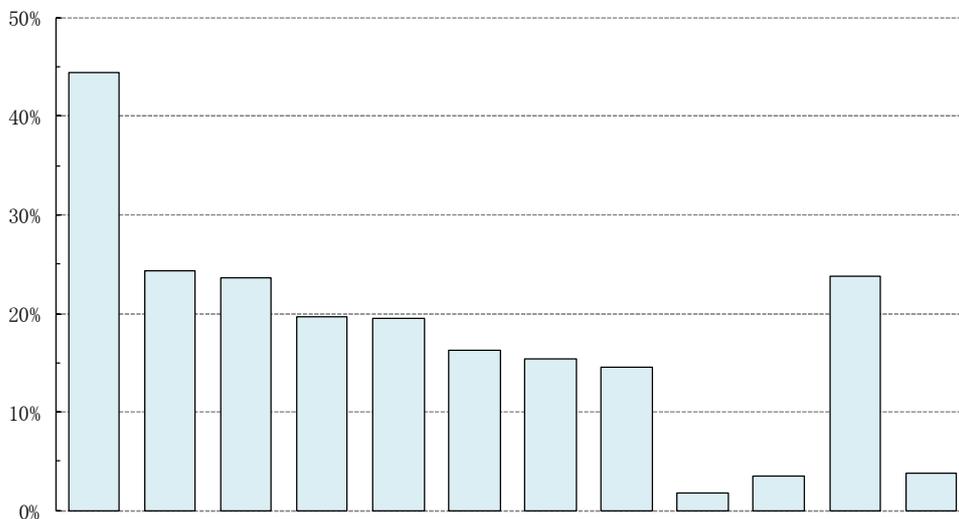
【年代別】「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また 29 歳以下では「SNS」、30 歳以上では「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」が最も高くなっている。

## 札幌市が行う取り組みで不足していると思うもの

【問10】 食の安全・安心の確保のために札幌市が行う取り組みについて、次の中から、あなたが不足していると思うものにいくつでも○をつけてください。

札幌市が行う取り組みについて、「わかりやすい情報の提供」が不足していると思っている人が44.4%

対象者全体(N=2,387)



対象者数 (%)	わかりやすい情報の提供	製造所などでの衛生指導	食品の抜き取り検査	事業者の自主的な衛生管理の推進	法令違反への厳しい対応	食中毒対策	表示の監視	消費者・事業者、行政間の情報・意見交換	その他	不足していることはない	わからない	無回答	
対象者全体	2,387	44.4	24.3	23.5	19.6	19.5	16.2	15.4	14.5	1.8	3.5	23.8	3.8
《性別》													
男性	900	41.4	21.7	21.9	17.0	21.7	15.8	14.8	15.3	1.4	4.6	25.6	3.2
女性	1,457	46.4	26.0	24.6	21.2	18.2	16.3	15.7	14.0	2.0	2.9	23.0	3.6
《年代別》													
29歳以下	173	39.9	17.3	12.7	12.7	13.3	12.1	5.8	14.5	2.3	5.8	35.8	0.6
30歳～39歳	233	45.9	15.5	17.2	9.0	17.6	10.3	9.0	12.9	2.1	3.9	27.9	2.1
40歳～49歳	391	50.9	18.7	18.4	16.4	14.8	13.0	12.3	14.6	3.3	3.8	25.1	1.8
50歳～59歳	413	43.6	18.6	20.1	15.3	15.7	10.4	12.8	11.4	2.4	5.8	27.8	1.9
60歳～69歳	538	46.1	28.8	28.3	24.7	23.6	17.5	18.8	16.2	0.7	2.2	20.4	4.5
70歳以上	594	40.7	33.8	30.8	26.6	24.2	24.6	21.5	16.2	1.0	2.2	18.5	5.9

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い  
 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】札幌市が行う取り組みで不足していると思うものは、「わかりやすい情報の提供」が44.4%と最も高く、次いで「製造所などでの衛生指導」が24.3%、「食品の抜き取り検査」が23.5%となっている。

【性別】「わかりやすい情報の提供」が女性で46.4%と、男性の41.4%より5.0ポイント高くなっている。

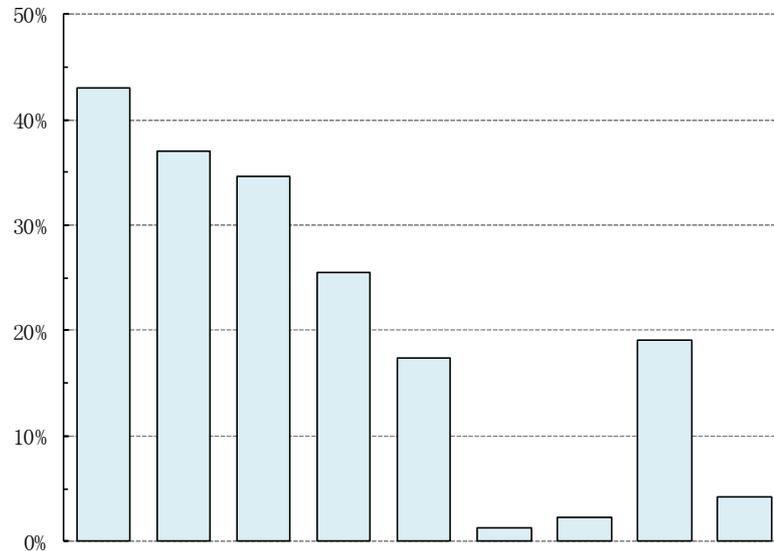
【年代別】「わかりやすい情報の提供」が40歳代(50.9%)で最も高く、次いで60歳代(46.1%)、30歳代(45.9%)となっている。

## 食品事業者が行う取り組みで不足していると思うもの

【問11】 食の安全・安心の確保のために食品を扱う事業者が行う取り組みについて、次の中から、あなたが不足していると思うものにいくつでも○をつけてください。

食品を扱う事業者が行う取り組みについて、「わかりやすい表示の推進」が不足していると思っている人が 43.1%

対象者全体(N=2,387)



対象者数	わかりやすい表示の推進	食の安全・安心を推進していることのPR	自主的な衛生管理の推進	食品の自主検査	消費者、事業者間の情報・意見交換	その他	不足していることはない	わからない	無回答
対象者全体 (N=2,387)	43.1	37.0	34.6	25.5	17.4	1.3	2.3	19.1	4.2
《性別》									
男性 (N=900)	42.6	37.8	34.6	25.4	18.1	1.3	3.1	17.7	3.1
女性 (N=1,457)	43.7	36.6	34.7	25.6	17.0	1.3	1.9	19.8	4.3
《年代別》									
29歳以下 (N=173)	39.9	26.6	26.6	16.2	16.2	1.2	3.5	26.6	0.6
30歳～39歳 (N=233)	40.3	25.3	26.6	21.0	15.5	2.1	2.1	27.0	1.3
40歳～49歳 (N=391)	41.9	37.3	38.1	23.0	15.6	2.6	3.3	19.9	1.0
50歳～59歳 (N=413)	44.8	36.1	34.1	22.8	14.3	1.0	3.4	20.1	2.9
60歳～69歳 (N=538)	46.7	41.1	35.5	28.3	19.5	1.3	1.3	15.8	3.9
70歳以上 (N=594)	42.1	41.9	37.9	31.3	20.5	0.5	1.7	14.6	8.2

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】食品を扱う事業者が行う取り組みで不足していると思うものは、「わかりやすい表示の推進」が 43.1%と最も高く、次いで「食の安全・安心を推進していることのPR」が 37.0%、「自主的な衛生管理の推進」が 34.6%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「わかりやすい表示の推進」が 60 歳代 (46.7%) で最も高く、次いで 50 歳代 (44.8%)、70 歳以上 (42.1%) となっている。

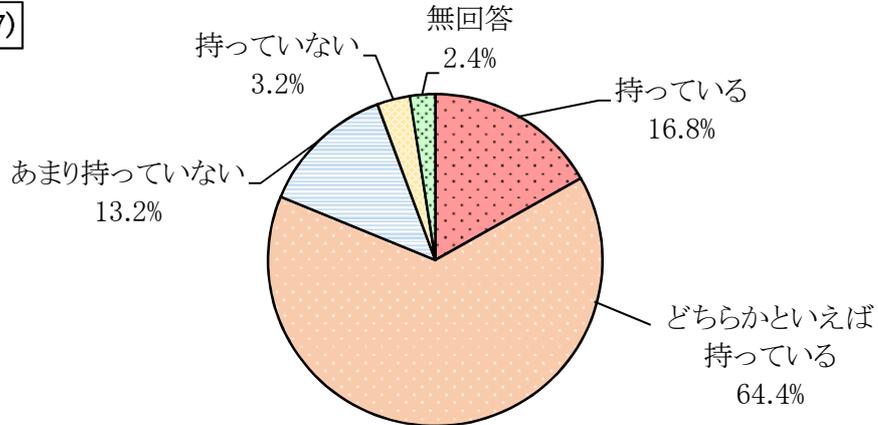
## 札幌の食に対する安全・安心のイメージ

【問12】 あなたは「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージを持っていますか。次の中から、あなたがもつイメージに近いものに1つだけ○をつけてください。

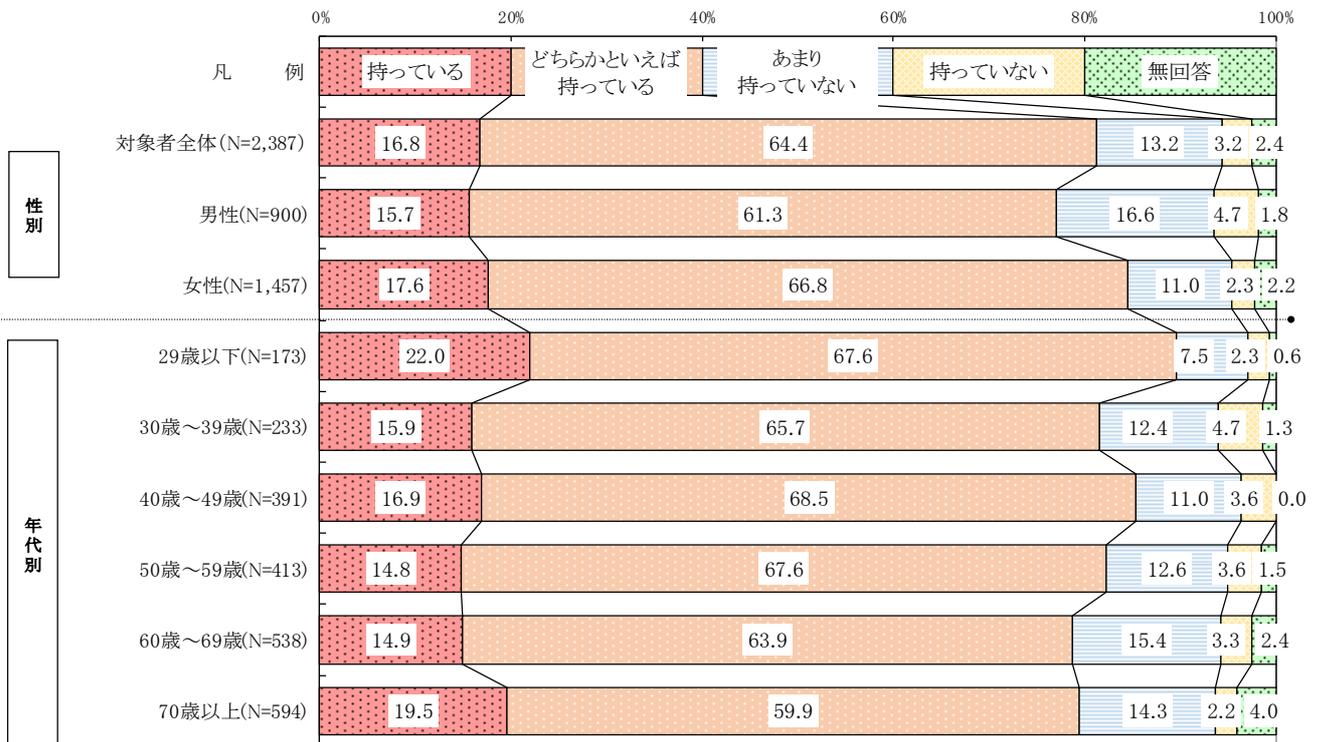
札幌の食に対して安全・安心というイメージを“持っている”人は81.2%

※“持っている”（「持っている」+「どちらかといえば持っている」）

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】札幌の食に対する安全・安心のイメージについて、「持っている」が16.8%、「どちらかといえば持っている」が64.4%、合わせると81.2%となっている。一方で、「あまり持っていない」が13.2%、「持っていない」が3.2%、合わせると16.3%となっている。



【性別】“持っている”が女性で84.5%と、男性の77.0%より7.5ポイント高くなっている。

【年代別】“持っている”が29歳以下(89.6%)で最も高く、次いで40歳代(85.4%)、50歳代(82.3%)となっている。

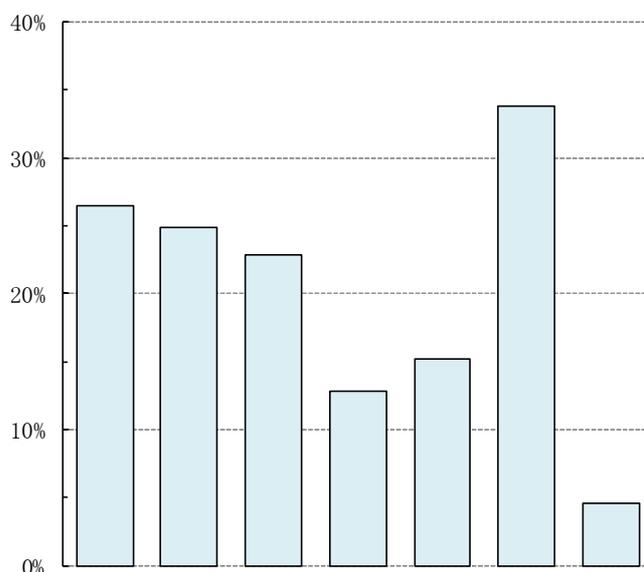
## 札幌の食に対して安全・安心のイメージを持っていない理由

《問12で、「3 あまり持っていない」または「4 持っていない」と答えた方にお聞きます。》

【問12-1】 あなたが、「札幌の食」に対して、「安全・安心」というイメージを持っていない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の食に対して安全・安心というイメージを持っていない理由は、「賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから」と回答した人が 26.4%

対象者全体(N=390)



	対象者数	賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから	不衛生な施設が営業しているから	食品表示のミスや食品へ異物が混入する事件が発生しているから	大規模な食中毒や、食中毒による死亡者が発生したことがあるから	その他	特に理由はない	無回答
(%)								
対象者全体	390	26.4	24.9	22.8	12.8	15.1	33.8	4.6
《性別》								
男性	191	27.7	23.6	22.0	11.5	14.1	37.7	2.6
女性	194	24.7	26.8	23.2	13.4	16.0	30.9	5.7
《年代別》								
29歳以下	17	17.6	17.6	41.2	17.6	-	41.2	11.8
30歳～39歳	40	15.0	20.0	17.5	7.5	25.0	42.5	-
40歳～49歳	57	19.3	33.3	15.8	10.5	29.8	29.8	1.8
50歳～59歳	67	26.9	26.9	23.9	11.9	20.9	28.4	6.0
60歳～69歳	101	34.7	28.7	28.7	13.9	8.9	31.7	3.0
70歳以上	98	27.6	20.4	19.4	14.3	8.2	36.7	6.1

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】札幌の食に対して安全・安心というイメージを持っていない理由は、「賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから」が 26.4%と最も高く、次いで「不衛生な施設が営業しているから」が 24.9%、「食品表示のミスや食品へ異物が混入する事件が発生しているから」が 22.8%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「食品表示のミスや食品へ異物が混入する事件が発生しているから」が 29 歳以下(41.2%)で最も高く、最も低い 40 歳代(15.8%)と比べると 25.4 ポイントの差となっている。

## (2) 下水道に対する意識について

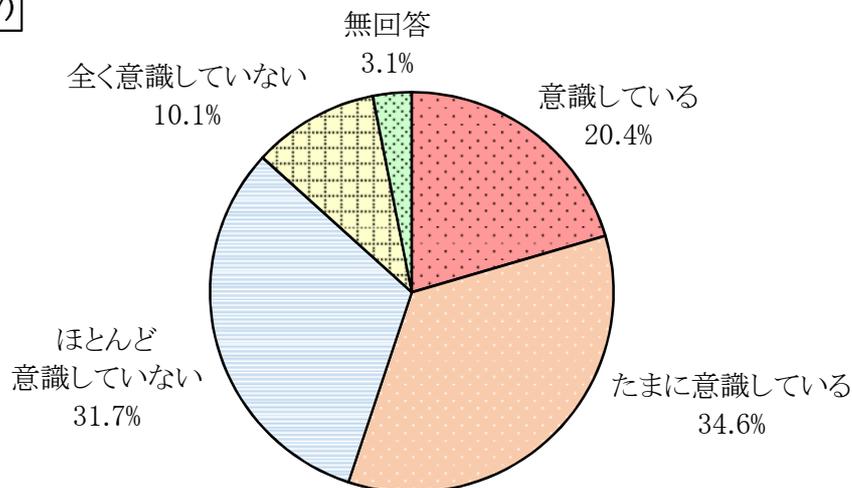
### 下水道に対する意識の有無

【問13】 あなたの下水道に対する意識について、もっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

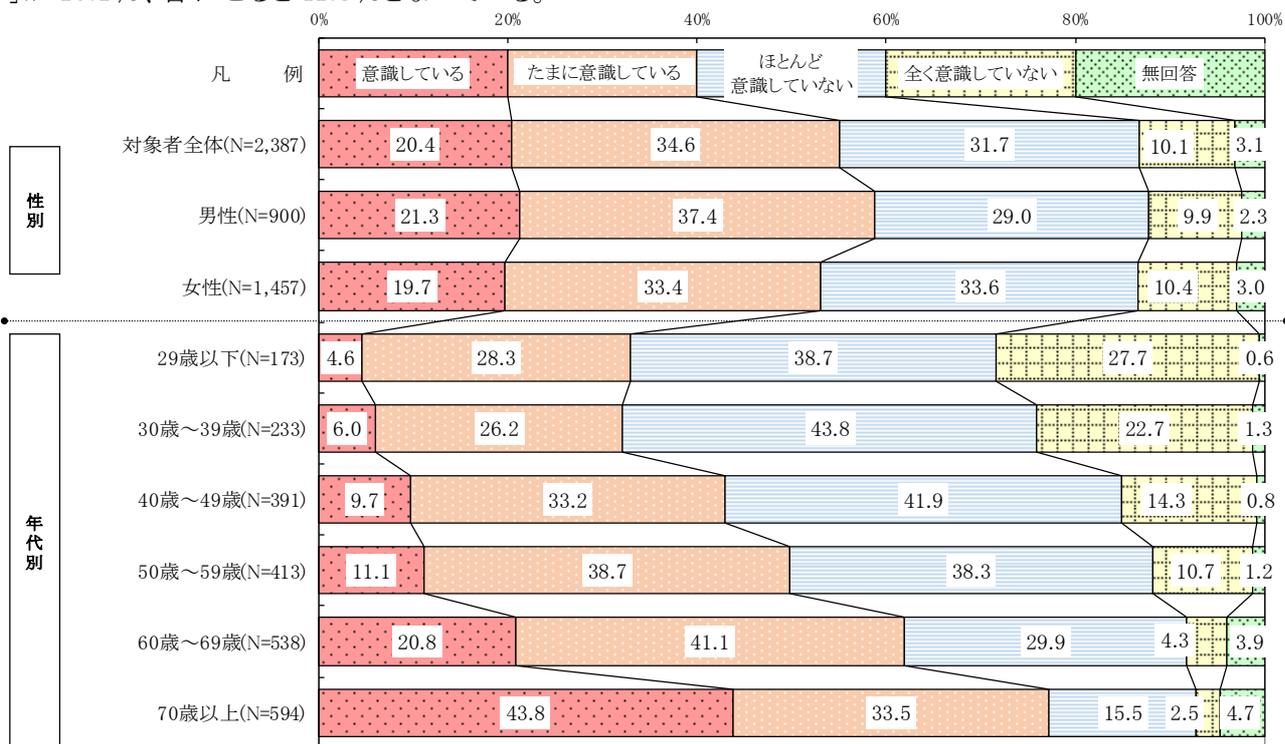
下水道に対して“意識している”人は55.1%

※“意識している”(「意識している」+「たまに意識している」)

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】下水道に対する意識の有無について、「意識している」が20.4%、「たまに意識している」が34.6%、合わせると55.1%となっている。一方で、「ほとんど意識していない」が31.7%、「全く意識していない」が10.1%、合わせると41.8%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“意識している”が70歳以上(77.3%)で最も高く、次いで60歳代(61.9%)、50歳代(49.9%)となっている。

問13 意識している …… 「意識している」+「たまに意識している」

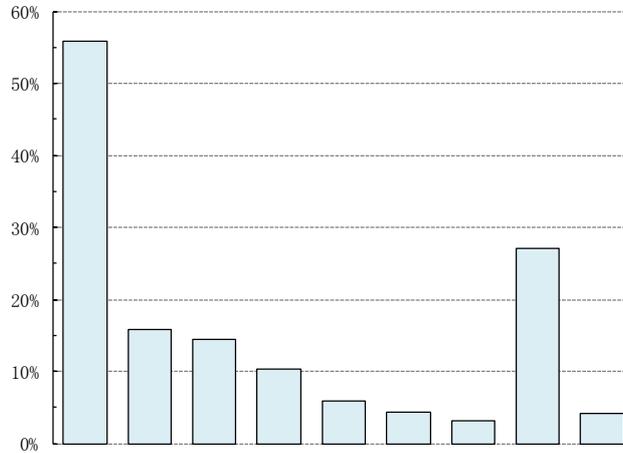
意識していない …… 「ほとんど意識していない」+「全く意識していない」

## 下水道に関する広報事業の認知度

【問14】 札幌市の下水道に関する広報事業で、あなたが知っている事業はありますか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

下水道に関する広報事業として、「札幌市下水道科学館(展示物、下水道科学館フェスタ等のイベント含む)」を知っている人は 55.8%

対象者全体(N=2,387)



対象者数	札幌市下水道科学館(展示物、下水道科学館フェスタ等のイベント含む)	「札幌市公式ホームページに掲載している「札幌市下水道のページ」	「マンホール蓋をデザインした「マンホールカード」の配布	パネルの展示やトークイベント等を実施する「下水道事業パネル展」	「出前授業(小学生対象)」や「出前講座」	下水道に関する施策や事業を紹介する写真コンテスト	職業・消費体験をしてみようイベント「ミニニさっぽろ」での下水道のお仕事体験	知っている事業はない	無回答	
対象者全体	2,387	55.8	15.9	14.4	10.4	5.9	4.4	3.2	27.1	4.3
《性別》										
男性	900	51.1	19.3	14.0	9.6	6.1	5.1	3.1	31.4	3.3
女性	1,457	59.1	13.9	14.9	11.0	5.9	4.0	3.2	24.7	4.3
《年代別》										
29歳以下	173	56.6	15.6	11.0	9.2	2.3	2.9	4.0	31.2	0.6
30歳～39歳	233	63.1	12.9	10.7	5.2	4.7	4.7	3.0	29.2	1.3
40歳～49歳	391	70.6	13.0	17.4	10.7	9.5	3.3	5.6	19.4	0.8
50歳～59歳	413	58.1	13.3	17.9	10.4	5.1	3.4	3.1	31.5	0.7
60歳～69歳	538	51.7	16.4	14.3	10.4	4.3	4.8	2.4	30.7	3.9
70歳以上	594	46.6	20.9	13.3	13.0	7.7	6.1	2.5	24.1	9.8
《問13 下水道に対する意識》										
意識している	1,315	61.0	21.3	17.3	14.7	8.2	6.0	3.8	19.5	3.6
意識していない	998	51.0	8.9	11.2	5.1	3.2	2.3	2.6	37.9	2.4

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】下水道に関する広報事業の認知度について、「札幌市下水道科学館」が55.8%と最も高く、次いで「札幌市公式ホームページに掲載している「札幌市下水道のページ」」が 15.9%、「マンホール蓋をデザインした「マンホールカード」の配布」が 14.4%となっている。

【性別】「札幌市下水道科学館」が女性で 59.1%と、男性の 51.1%より 8.0 ポイント高くなっている。

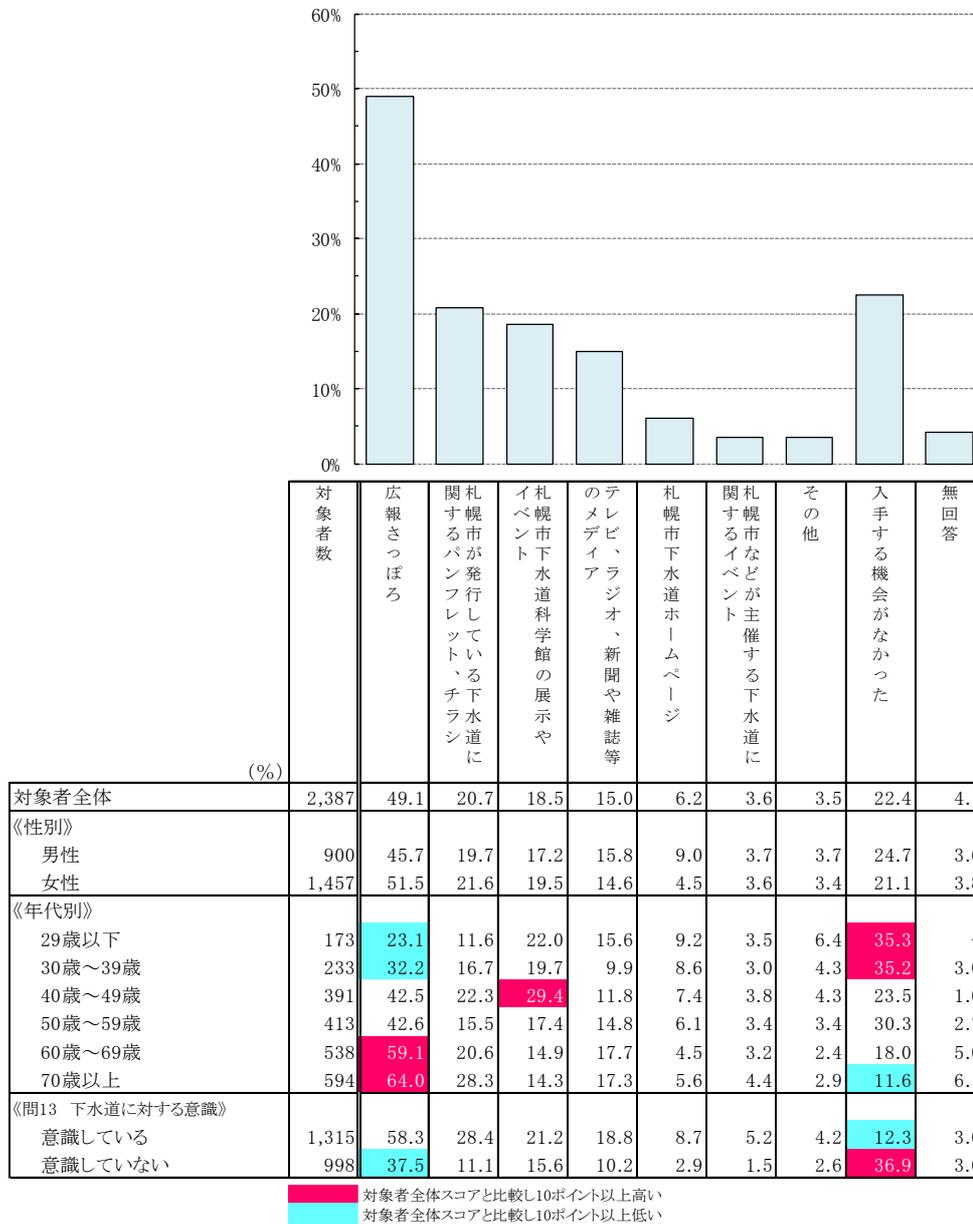
【年代別】「札幌市下水道科学館」が 40 歳代(70.6%)で最も高く、最も低い 70 歳以上(46.6%)と比べると 24.0 ポイントの差となっている。

## 下水道に関する情報の入手方法

【問15】 あなたは、下水道に関する情報を、どのような方法で入手したことがありますか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

下水道に関する情報の入手方法は、「広報さっぽろ」と回答した人が 49.1%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】下水道に関する情報の入手方法は、「広報さっぽろ」が 49.1%と最も高く、次いで「札幌市が発行している下水道に関するパンフレット、チラシ」が 20.7%、「札幌市下水道科学館の展示やイベント」が 18.5%となっている。

【性別】「広報さっぽろ」が女性で 51.5%と、男性の 45.7%より 5.8 ポイント高くなっている。

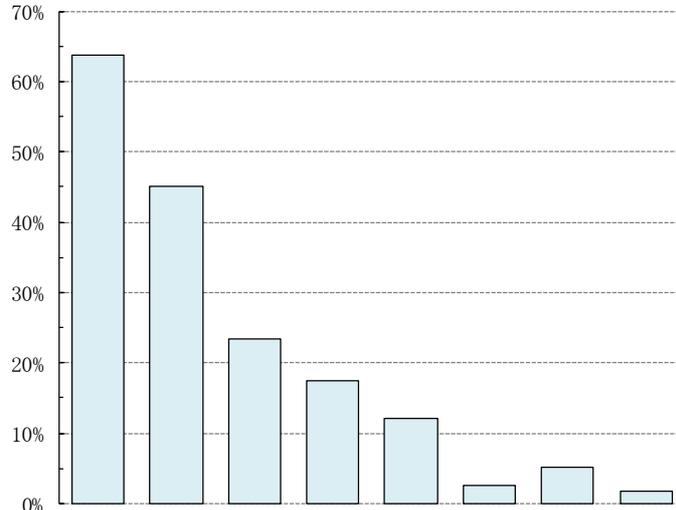
【年代別】「札幌市下水道科学館の展示やイベント」が 40 歳代(29.4%)で最も高く、次いで 29 歳以下(22.0%)、30 歳代(19.7%)となっている。

## 下水道に関する情報を受け取りやすい方法

【問16】 下水道に関する情報について、あなたが受け取りやすいと思う方法は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

下水道に関する情報を受け取りやすい方法として、「広報さっぽろなどの札幌市の広報誌を活用する」と回答した人が 63.8%

対象者全体(N=2,387)



	対象者数	広報誌を活用するなどの札幌市の	テレビ、ラジオ、新聞や雑誌等のメディアを活用する	市民が目につく場所にパンフレットやチラシを配架する	市民が多く集まる場所で広報イベントを開催する	札幌市下水道ホームページなどのインターネットを活用する	その他	特になし	無回答
対象者全体	2,387	63.8	45.2	23.4	17.5	12.1	2.6	5.2	1.8
《性別》									
男性	900	58.3	44.1	23.4	14.8	16.4	3.0	6.8	1.6
女性	1,457	67.5	46.2	23.3	19.3	9.5	2.4	4.2	1.4
《年代別》									
29歳以下	173	31.8	56.6	20.8	22.5	19.7	4.0	7.5	-
30歳～39歳	233	50.2	46.8	28.3	21.5	16.7	4.7	6.4	0.9
40歳～49歳	391	59.3	47.1	23.8	21.2	14.1	4.3	5.9	-
50歳～59歳	413	59.1	47.5	20.3	18.6	15.0	3.1	8.2	0.5
60歳～69歳	538	72.5	43.3	22.3	14.7	10.6	0.9	3.7	1.7
70歳以上	594	78.3	41.4	24.9	14.5	7.1	1.5	2.5	3.4
《問13 下水道に対する意識》									
意識している	1,315	70.3	45.9	26.2	18.6	13.8	2.8	2.7	1.2
意識していない	998	56.0	46.0	19.8	16.3	10.4	2.5	8.6	0.3

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】下水道に関する情報を受け取りやすい方法は、「広報さっぽろなどの札幌市の広報誌を活用する」が 63.8%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞や雑誌等のメディアを活用する」が 45.2%、「市民が目につく場所にパンフレットやチラシを配架する」が 23.4%となっている。

【性別】「広報さっぽろなどの札幌市の広報誌を活用する」が女性で 67.5%と、男性の 58.3%より 9.2 ポイント高くなっている。

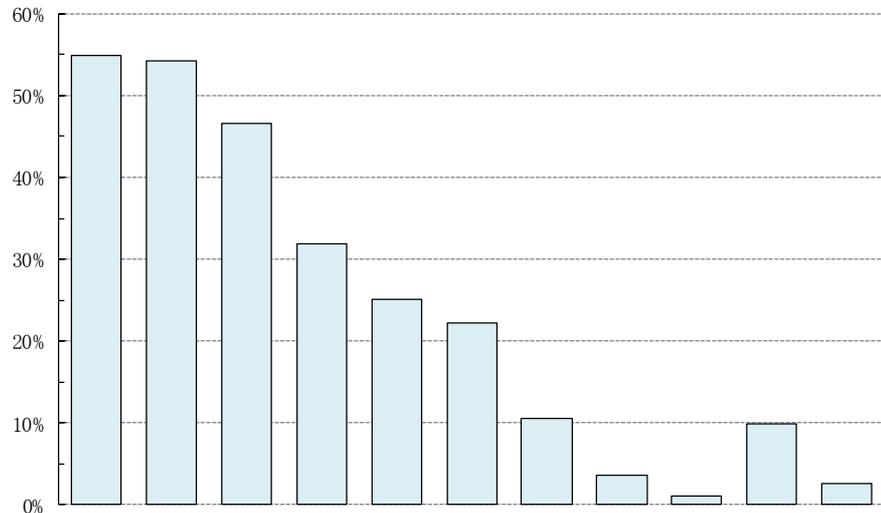
【年代別】29 歳以下では、「テレビ、ラジオ、新聞や雑誌等のメディアを活用する」が最も高く、30 歳以上では「広報さっぽろなどの札幌市の広報誌を活用する」が最も高くなっている。

## 下水道について関心がある情報

【問17】 あなたが、下水道について関心がある情報はありますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

下水道について関心がある情報は、「大規模な災害に備えた対策」と回答した人が 54.9%

対象者全体(N=2,387)



対象者数	大規模な災害に備えた対策	下水道施設の老朽化対策	きれいな水を河川に放流し、良好な水環境を保つための対策	下水道事業の経営状況や下水道使用料	下水道が保有するエネルギーや資源の有効活用	下水道の仕組みや役割	札幌市内各所にある下水道施設	イベントの開催などの広報事業	その他	特になし	無回答
対象者全体 (N=2,387)	54.9	54.3	46.7	31.9	25.2	22.2	10.5	3.6	1.1	10.0	2.6
《性別》											
男性 (N=900)	49.9	58.9	44.7	31.9	23.7	22.4	12.8	4.3	0.9	12.3	1.6
女性 (N=1,457)	58.6	51.9	48.2	32.1	26.3	22.2	9.0	3.0	1.2	8.4	2.6
《年代別》											
29歳以下 (N=173)	52.0	36.4	50.3	21.4	22.0	20.8	5.2	1.7	0.6	19.7	-
30歳～39歳 (N=233)	56.2	43.8	47.6	28.8	23.6	22.3	5.6	3.9	-	15.0	0.9
40歳～49歳 (N=391)	55.5	47.3	45.8	29.4	25.1	24.0	9.7	6.4	1.3	12.0	1.3
50歳～59歳 (N=413)	57.4	57.6	48.7	27.6	26.2	21.8	7.5	2.9	1.0	9.9	0.5
60歳～69歳 (N=538)	57.1	63.2	44.8	33.6	29.0	18.6	9.7	2.0	0.9	7.8	2.6
70歳以上 (N=594)	53.2	59.4	47.5	39.7	23.6	24.9	17.2	3.9	1.7	5.2	4.9
《問13 下水道に対する意識》											
意識している (N=1,315)	59.8	65.0	52.8	38.5	29.4	26.0	14.0	4.4	1.7	3.8	2.0
意識していない (N=998)	49.1	40.8	39.1	23.3	20.1	17.2	6.2	2.6	0.4	18.3	1.9

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】下水道について関心がある情報は、「大規模な災害に備えた対策」が 54.9%と最も高く、次いで「下水道施設の老朽化対策」が 54.3%、「きれいな水を河川に放流し、良好な水環境を保つための対策」が 46.7%となっている。

【年代別】「下水道施設の老朽化対策」が 60 歳代 (63.2%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (36.4%) と比べると 26.8 ポイントの差となっている。

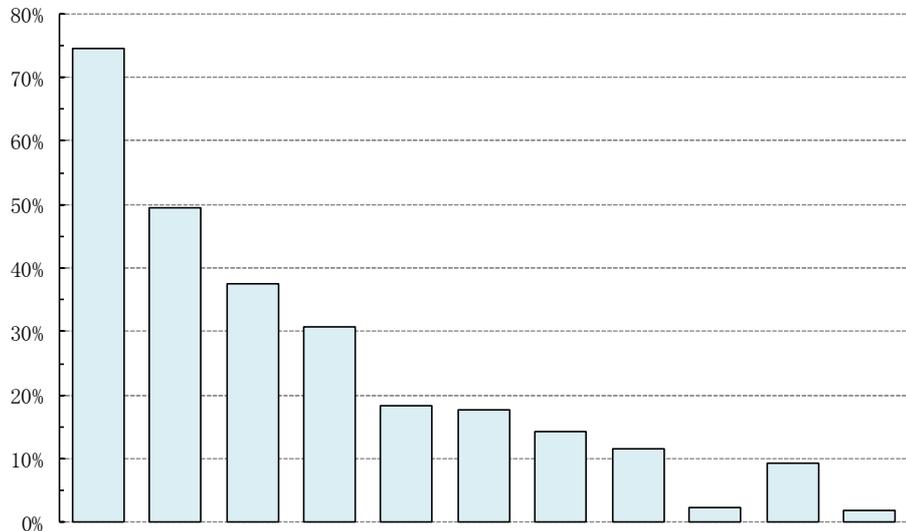
【問13 下水道に対する意識の割合別】問13で、下水道を「意識している」と回答した人は「下水道施設の老朽化対策」(65.0%) が、「意識していない」と回答した人は「大規模な災害に備えた対策」(49.1%) が最も高くなっている。

### (3) 歯・口腔の健康づくりについて 歯の健康のために気をつけていること

【問18】 あなたは、歯の健康のために気をつけていることはありますか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。

歯の健康のため、「歯磨きを1日2回以上している」人が 74.6%

対象者全体(N=2,387)



対象者数	歯磨きを1日2回以上している (%)	歯間ブラシも使用している (%)	定期的に歯科検診を受けている (%)	歯石は年1回以上取るようかむ (%)	禁煙をする (%)	間食の回数を控える (%)	甘いものを控える (%)	その他 (%)	特に何も気をつけていない (%)	無回答 (%)
対象者全体 (N=2,387)	74.6	49.6	37.5	30.9	18.3	17.7	14.4	11.6	2.3	9.5
《性別》										
男性 (N=900)	64.0	39.6	30.1	25.6	15.2	20.2	14.1	12.7	1.9	14.0
女性 (N=1,457)	81.4	55.9	42.3	34.3	20.0	16.3	14.6	10.7	2.5	6.9
《年代別》										
29歳以下 (N=173)	79.8	22.5	25.4	19.7	13.3	26.6	10.4	7.5	1.2	6.4
30歳～39歳 (N=233)	73.0	38.6	32.6	26.6	15.9	18.5	7.7	5.2	1.7	10.7
40歳～49歳 (N=391)	78.5	49.1	38.1	32.7	12.5	17.4	9.5	7.9	1.3	10.2
50歳～59歳 (N=413)	76.8	54.7	38.7	31.0	12.8	16.2	10.9	9.9	1.7	8.5
60歳～69歳 (N=538)	73.8	53.7	38.7	34.2	17.5	18.2	18.6	13.4	2.0	9.7
70歳以上 (N=594)	71.5	54.7	41.9	32.5	28.8	15.8	19.7	16.7	4.0	10.1

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い  
対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】歯の健康のために気をつけていることは、「歯磨きを1日2回以上している」が 74.6%と最も高く、次いで「歯間ブラシも使用している」が 49.6%、「定期的に歯科検診を受けている」が 37.5%となっている。

【性別】「歯磨きを1日2回以上している」、「歯間ブラシも使用している」、「定期的に歯科検診を受けている」は女性が男性より 10.0 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「歯間ブラシも使用している」が 50 歳代、70 歳以上 (54.7%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (22.5%) と比べると 32.2 ポイントの差となっている。

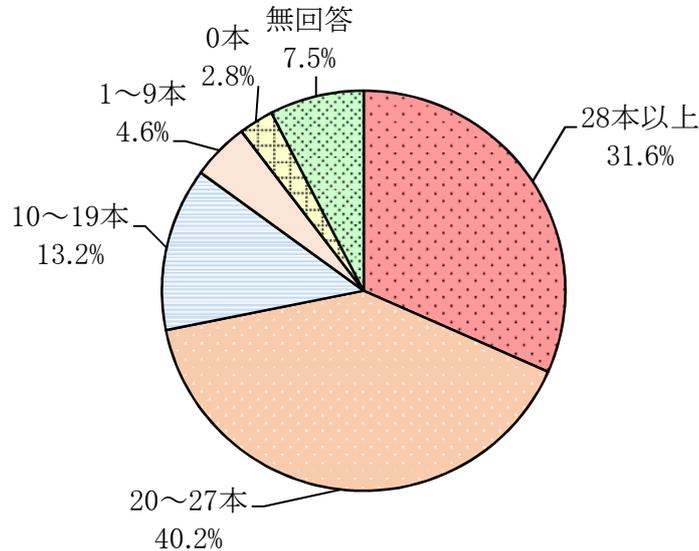
## 自身の歯の本数

【問19】 あなた自身の歯は何本ありますか。

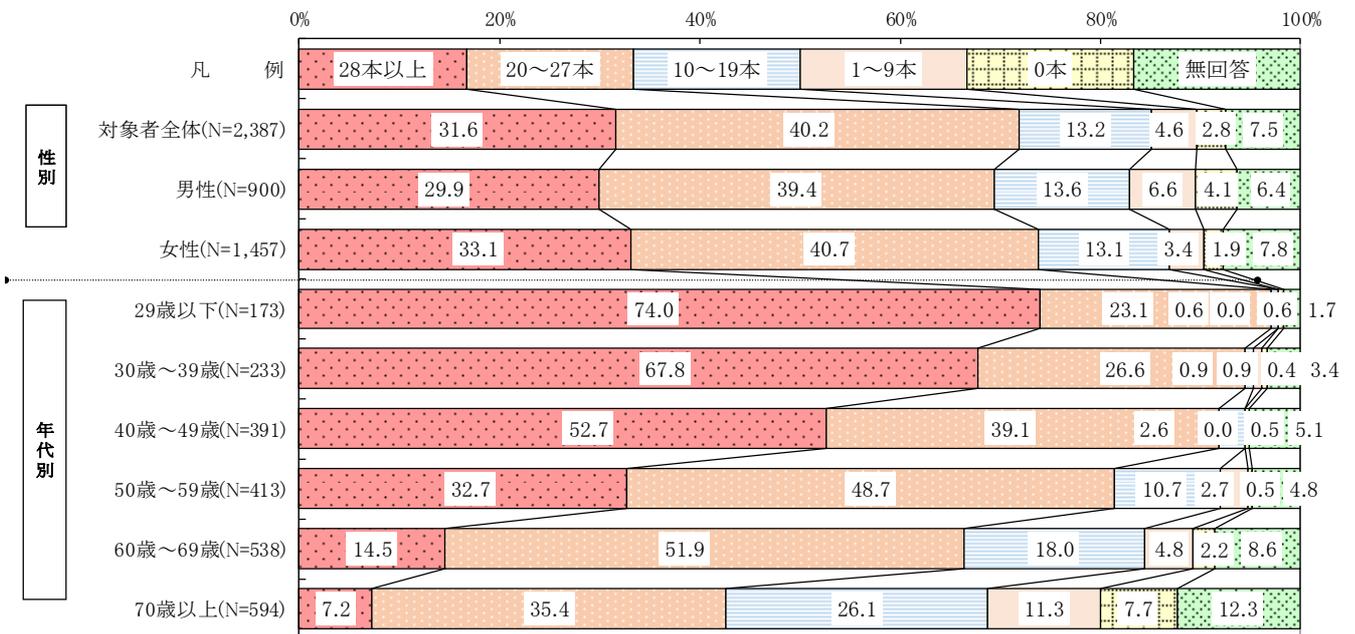
※差し歯は含みますが、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。親知らずを除くと全部で28本ですが、28本より多い場合や少ない場合もあります。

自身の歯の本数について、「28本以上」と回答した人が31.6%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】自身の歯の本数について、「28本以上」が31.6%、「20~27本」が40.2%、「10~19本」が13.2%、「1~9本」が4.6%、「0本」が2.8%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

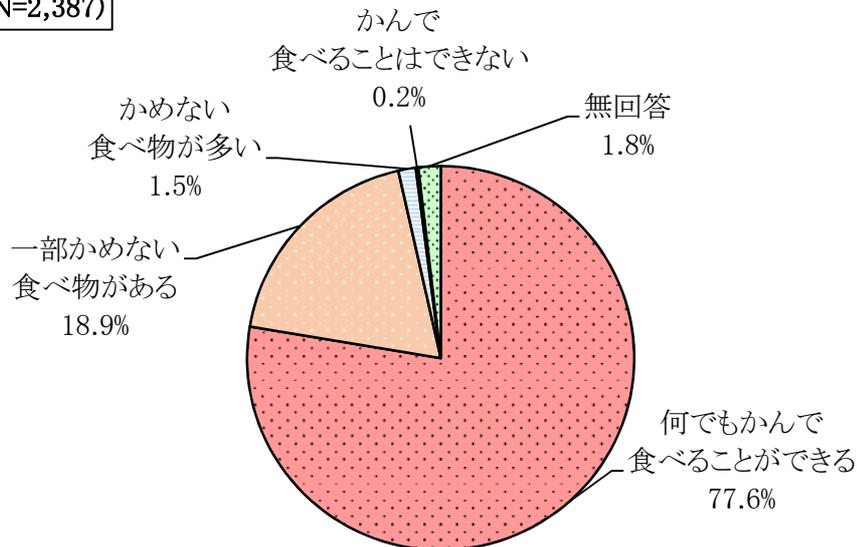
【年代別】「28本以上」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

## かんで食べる時の状態

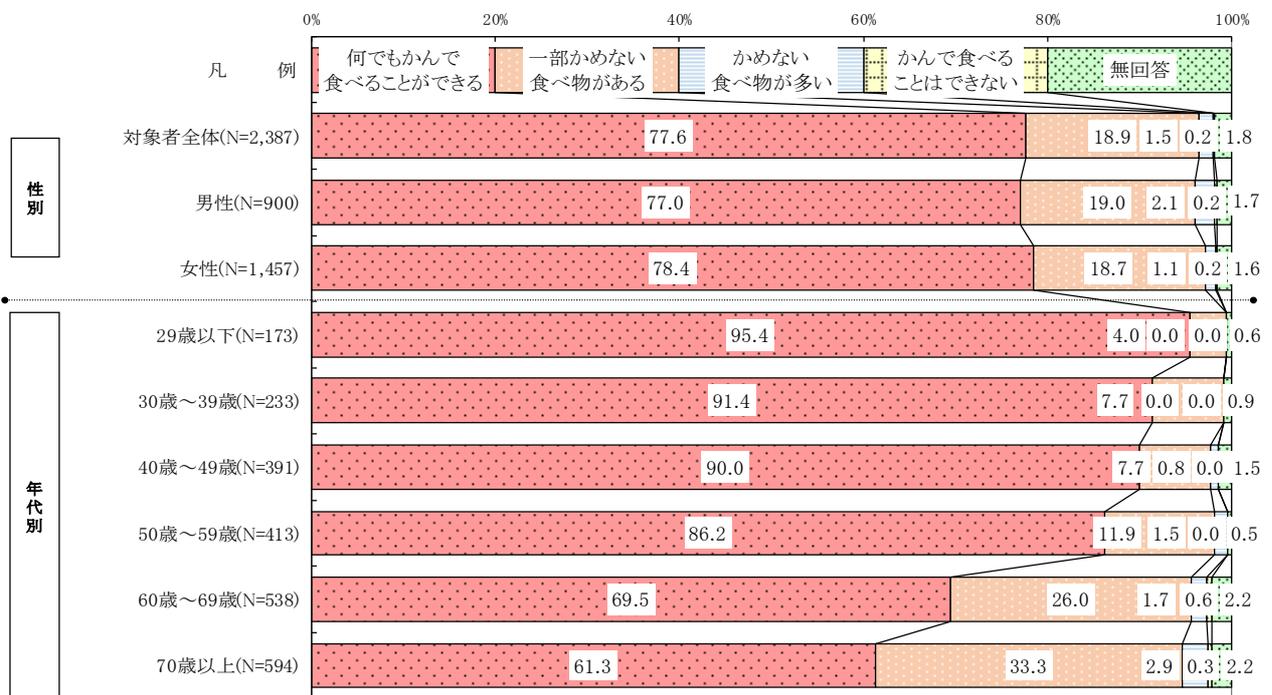
【問20】 あなたのかんで食べる時の状態について、次の中から、あてはまるものに 1つだけ ○をつけてください。

「何でもかんで食べることができる」人は 77.6%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】かんで食べる時の状態について、「何でもかんで食べることができる」が 77.6%、「一部かめない食べ物がある」が 18.9%、「かめない食べ物が多い」が 1.5%、「かんで食べることはできない」が 0.2%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

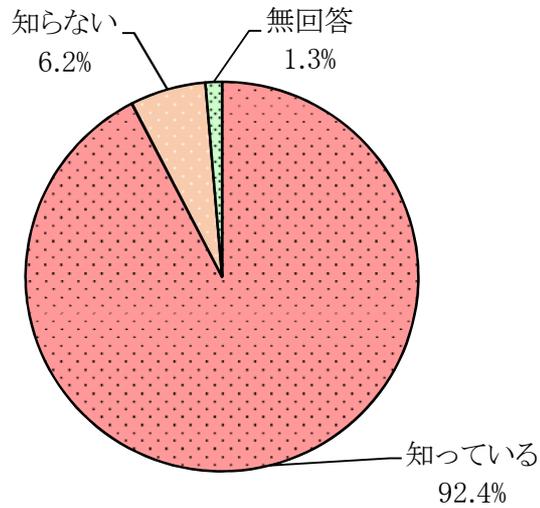
【年代別】「何でもかんで食べることができる」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

## 口腔がんの認知度

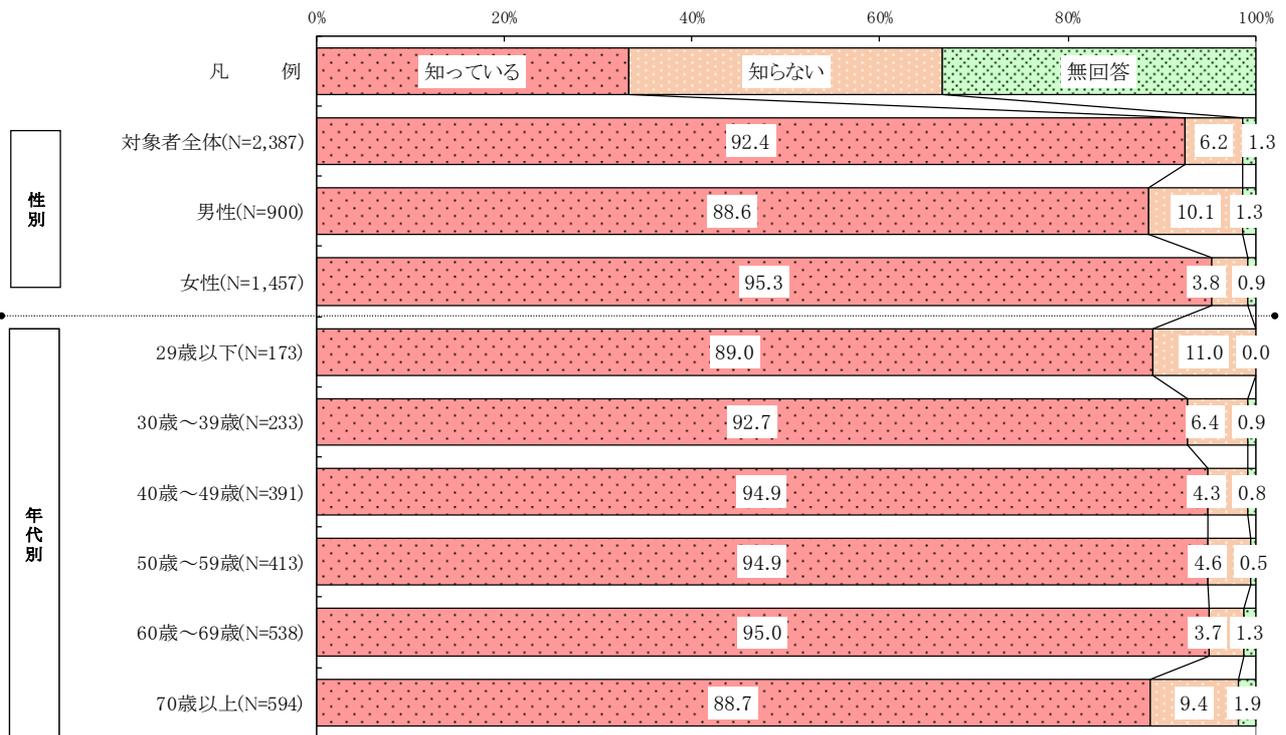
【問21】 あなたは、口の中（歯茎や舌）に「がん（口腔がん）」ができることを知っていますか。

口腔がんができることを「知っている」人は 92.4%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】口腔がんについて、「知っている」が 92.4%、「知らない」が 6.2%となっている。



【性別】「知っている」が女性で 95.3%と、男性の 88.6%より 6.7 ポイント高くなっている。

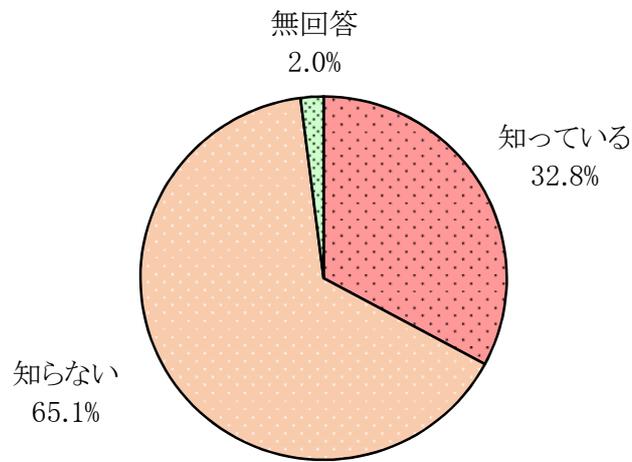
【年代別】「知っている」が 60 歳代(95.0%)で最も高く、最も低い 70 歳以上(88.7%)と比べると 6.3 ポイントの差となっている。

## 口腔がんを自分で発見することができることの認知度

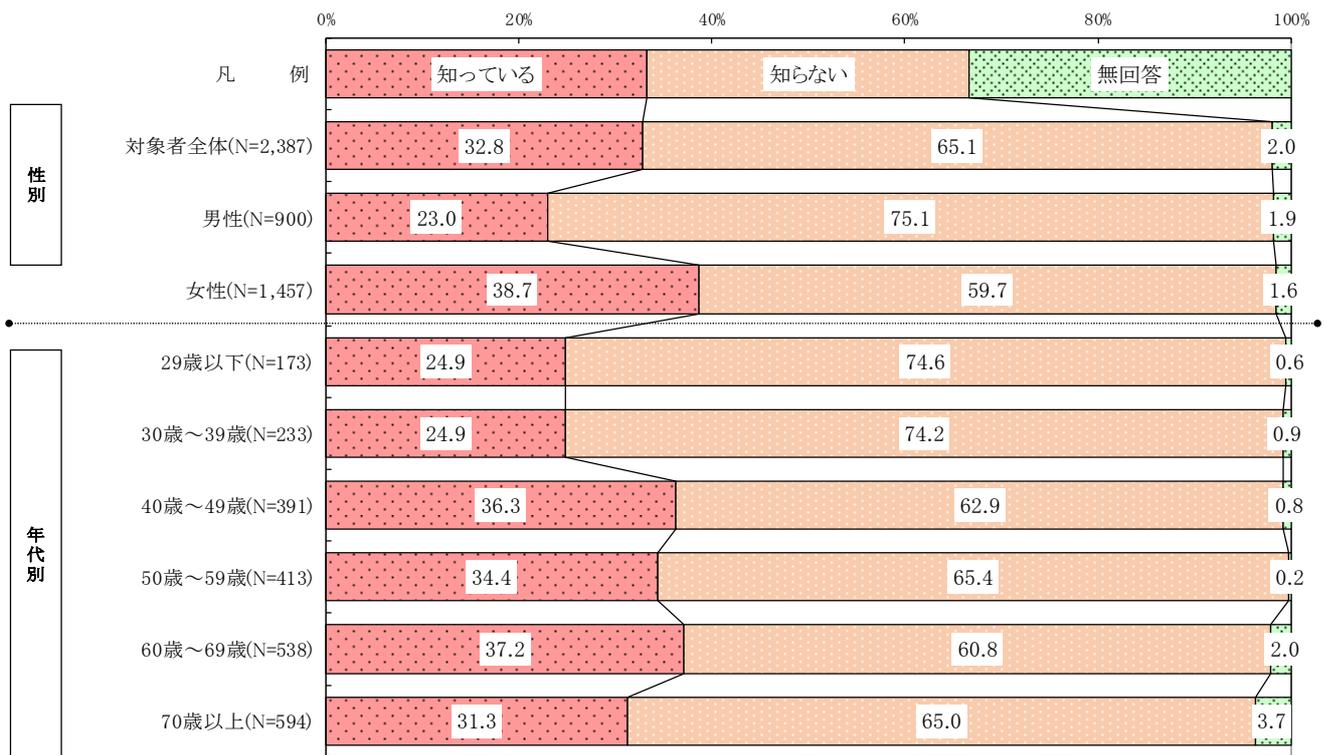
【問22】 あなたは、口腔がんが自分で口の中を観察し、発見できることを知っていますか。

口腔がんを自分で発見できると「知っている」人は 32.8%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】口腔がんを自分で発見することができることについて、「知っている」が 32.8%、「知らない」が 65.1%となっている。



【性別】「知っている」が女性で 38.7%と、男性の 23.0%より 15.7 ポイント高くなっている。

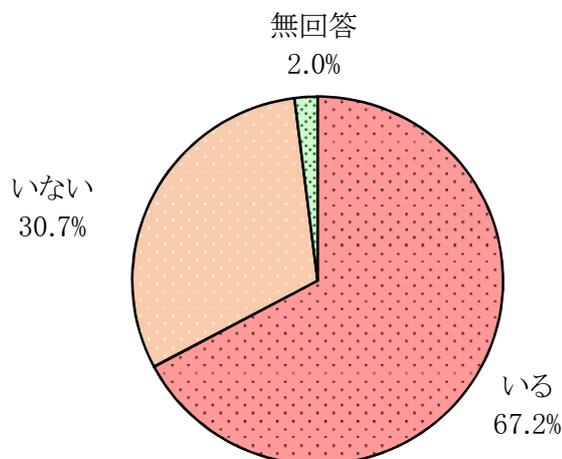
【年代別】「知っている」が 60 歳代(37.2%)で最も高く、最も低い 29 歳以下、30 歳代(24.9%)と比べると 12.3 ポイントの差となっている。

## かかりつけ歯科医の有無

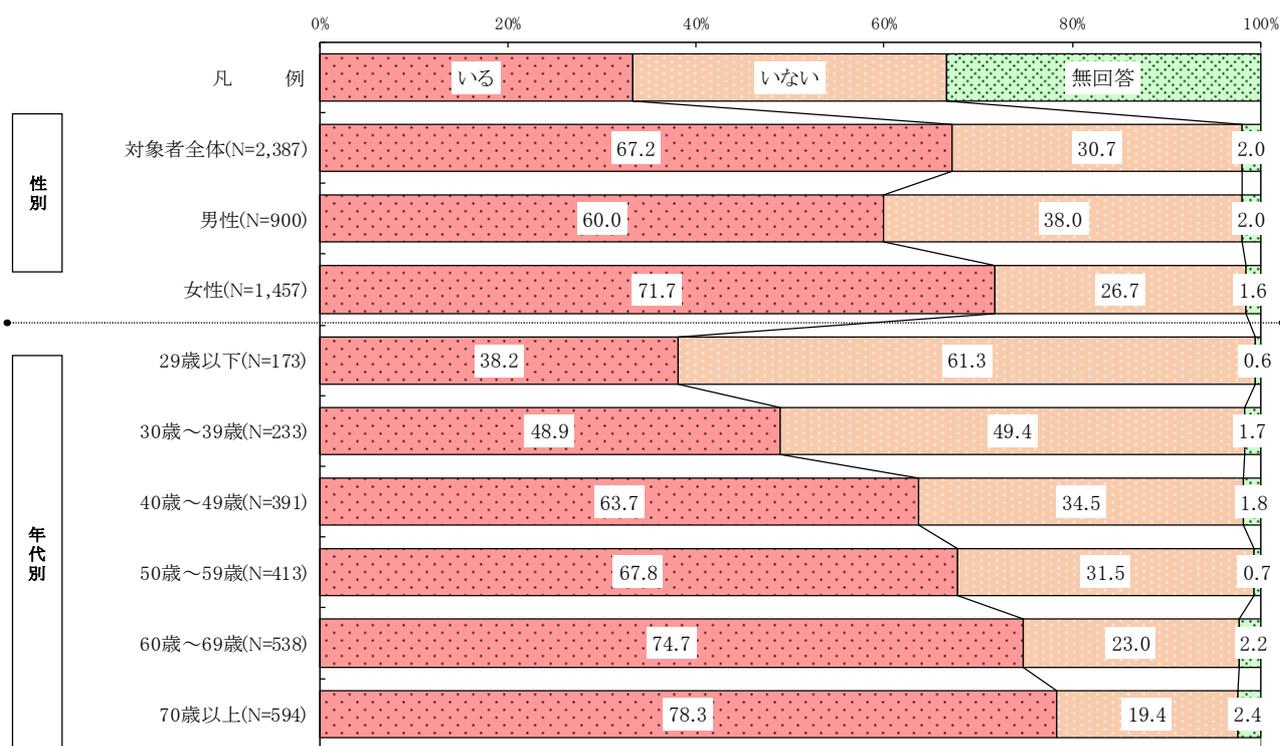
【問23】 あなたは、「かかりつけ歯科医」がいますか。

かかりつけ歯科医が「いる」人は 67.2%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】かかりつけ歯科医の有無について、「いる」が 67.2%、「いない」が 30.7%となっている。



【性別】「いる」が女性で 71.7%と、男性の 60.0%より 11.7 ポイント高くなっている。

【年代別】「いる」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

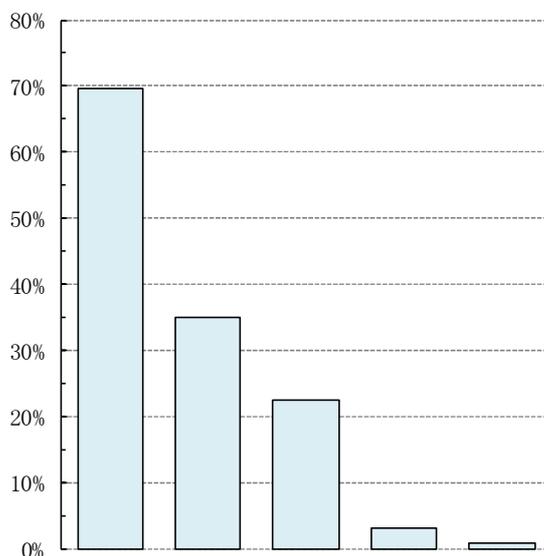
## かかりつけ歯科医を受診する理由

《問23で「1 いる」と答えた方にお聞きます。》

【問23-1】 あなたは、どのようなときに「かかりつけ歯科医」に行きますか。あてはまるものにいくつでも〇をつけてください。

かかりつけ歯科医を受診する理由は、「痛みなどの症状や気になるところがあったときに行っている」と回答した人が 69.6%

対象者全体(N=1,605)



対象者数 (%)	対象者数	痛みなどの症状や気になるところがあったときに行っている	定期的に行っている（症状の有無に関係なく）	等々の通知があったときに行っている（歯科医院から歯科検診受診等）	その他	無回答
対象者全体	1,605	69.6	35.0	22.5	3.1	0.8
《性別》						
男性	540	72.6	34.1	18.3	3.1	0.7
女性	1,045	67.9	35.8	24.7	3.1	0.8
《年代別》						
29歳以下	66	63.6	33.3	21.2	3.0	3.0
30歳～39歳	114	70.2	37.7	20.2	2.6	-
40歳～49歳	249	71.1	36.5	28.9	2.4	0.4
50歳～59歳	280	68.9	30.0	24.3	3.2	1.1
60歳～69歳	402	66.9	37.3	21.9	2.2	0.2
70歳以上	465	71.2	36.1	19.8	4.3	1.1

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】かかりつけ歯科医を受診する理由は、「痛みなどの症状や気になるところがあったときに行っている」が 69.6%と最も高く、次いで「症状の有無に関係なく定期的に行っている」が 35.0%、「歯科医院から歯科検診受診等の通知があったときに行っている」が 22.5%となっている。

【性別】「歯科医院から歯科検診受診等の通知があったときに行っている」が女性で 24.7%と、男性 18.3%より 6.4 ポイント高くなっている。

【年代別】「痛みなどの症状や気になるところがあったときに行っている」が 70 歳以上(71.2%)で最も高く、次いで 40 歳代(71.1%)、30 歳代(70.2%)となっている。

## さっぽろ市歯周病検診の認知度

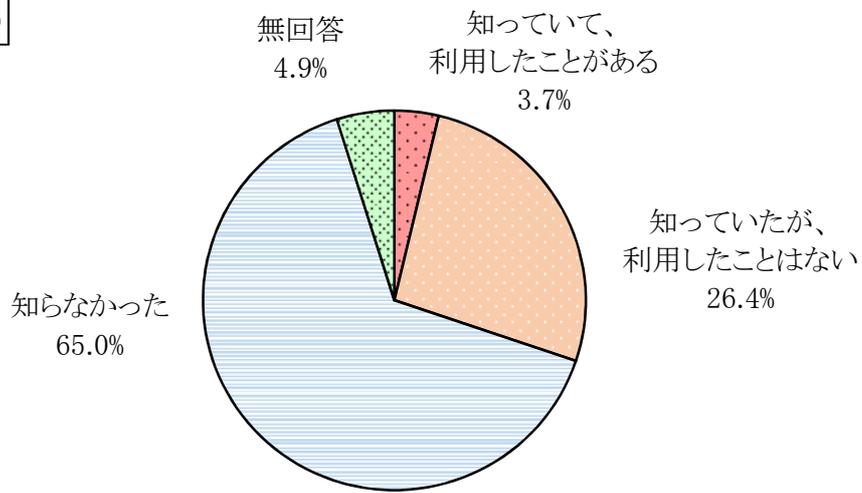
《令和元年7月1日時点で40歳以上の方にお聞きします。》

【問24】 あなたは、「さっぽろ市歯周病検診」を知っていましたか。

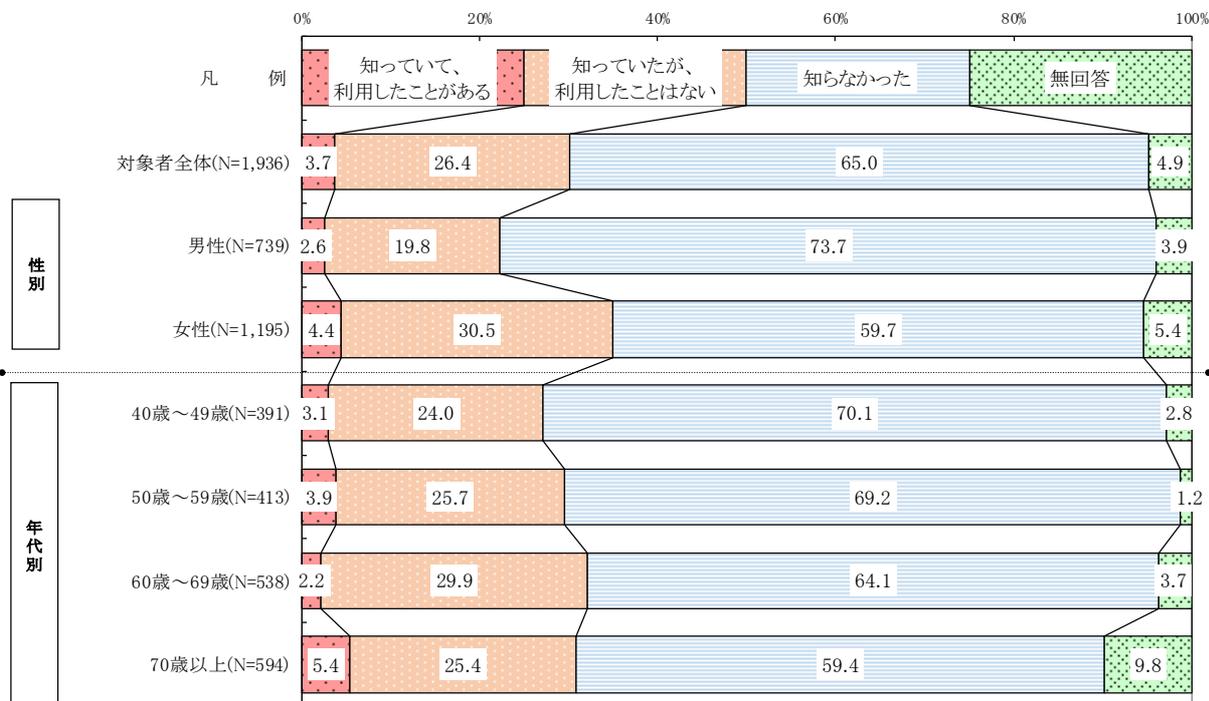
さっぽろ市歯周病検診を“知っていた”人は **30.2%**

※“知っていた”(「知っていて、利用したことがある」+「知っていたが、利用したことはない」)

対象者全体(N=1,936)



【対象者全体】さっぽろ市歯周病検診について、「知っていて、利用したことがある」が3.7%、「知っていたが、利用したことはない」が26.4%、合わせると30.2%となっている。一方で、「知らなかった」が65.0%となっている。



【性別】“知っていた”が女性で35.0%と、男性の22.3%より12.7ポイント高くなっている。

【年代別】“知っていた”が60歳代(32.2%)で最も高く、次いで70歳以上(30.8%)、50歳代(29.5%)となっている。

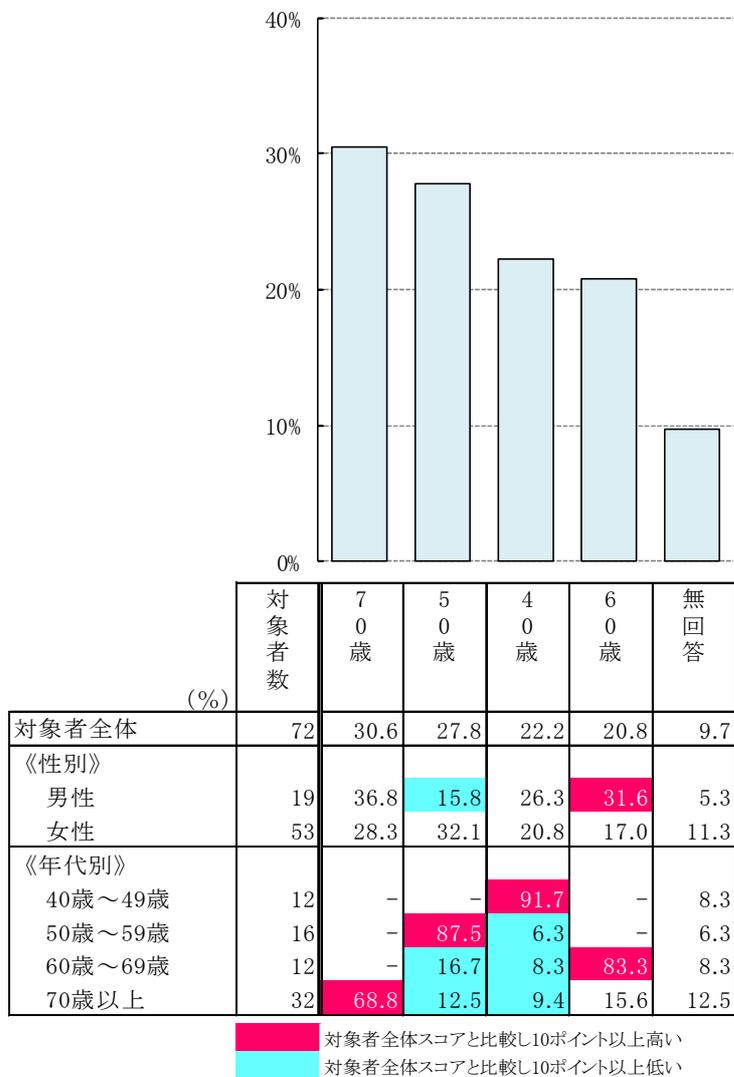
## さっぽろ市歯周病検診を受診したときの年齢

《問24で「1 知っていて、利用したことがある」と答えた方にお聞きします。》

【問24-1】 あなたが、「さっぽろ市歯周病検診」を受診したときの年齢を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

さっぽろ市歯周病検診を受診したときの年齢は、「70 歳」と回答した人が 30.6%

対象者全体(N=72)



【対象者全体】さっぽろ市歯周病検診を受診したときの年齢は、「70 歳」が 30.6%と最も高く、次いで「50 歳」が 27.8%、「40 歳」が 22.2%となっている。

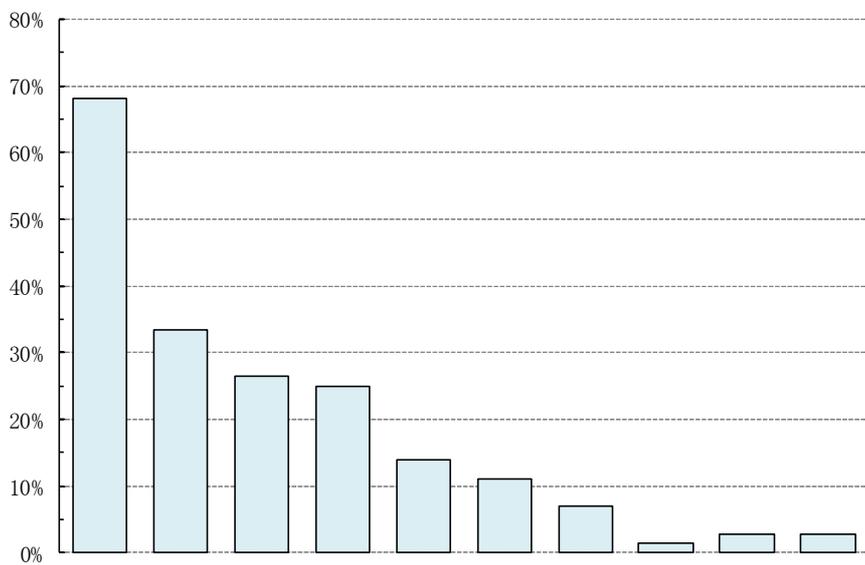
## さっぽろ市歯周病検診を受診した理由

《問24で「1 知っていて、利用したことがある」と答えた方にお聞きします。》

【問24-2】 あなたが「さっぽろ市歯周病検診」を受診した理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

さっぽろ市歯周病検診を受診した理由は、「受診はがきが届いたから」と回答した人が 68.1%

対象者全体(N=72)



対象者数 (%)	受診はがきが届いたから	必要性を感じたから	500円で受診できるから	日頃から歯に気をつけているから	行きやすいところに歯科医院があったから	歯科医院で勧められたから	興味があったから	家族や友人などから勧められたから	その他	無回答
対象者全体	72	68.1	33.3	26.4	25.0	13.9	11.1	6.9	1.4	2.8
《性別》										
男性	19	73.7	36.8	10.5	15.8	15.8	5.3	5.3	-	5.3
女性	53	66.0	32.1	32.1	28.3	13.2	9.4	7.5	-	3.8
《年代別》										
40歳～49歳	12	75.0	41.7	25.0	25.0	8.3	8.3	33.3	-	-
50歳～59歳	16	68.8	25.0	50.0	37.5	-	6.3	-	-	6.3
60歳～69歳	12	75.0	50.0	33.3	16.7	33.3	8.3	-	-	8.3
70歳以上	32	62.5	28.1	12.5	21.9	15.6	15.6	3.1	3.1	3.1

■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い  
 ■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】さっぽろ市歯周病検診を受診した理由は、「受診はがきが届いたから」が 68.1%と最も高く、次いで「必要性を感じたから」が 33.3%、「500円で受診できるから」が 26.4%となっている。

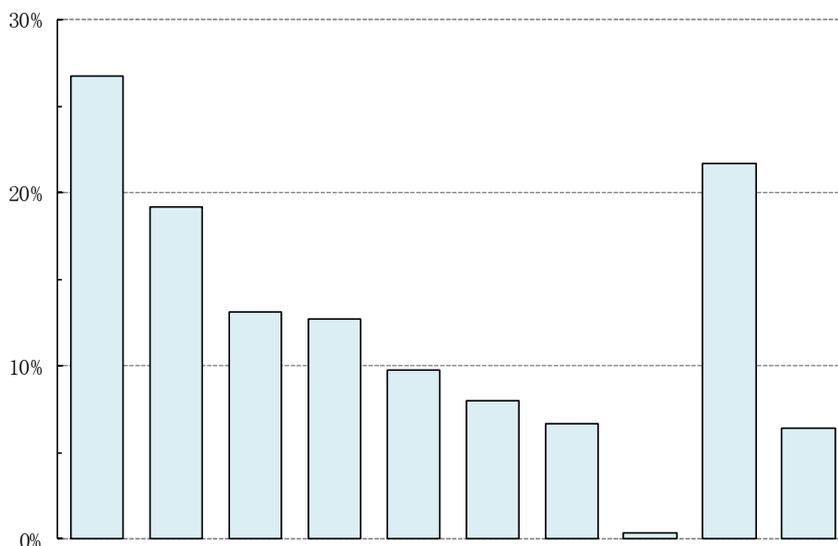
## さっぽろ市歯周病検診を受診しなかった理由

《問24で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

【問24-3】 あなたが「さっぽろ市歯周病検診」を受診しなかった理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

さっぽろ市歯周病検診を受診しなかった理由は、「必要性を感じていなかったから」と回答した人が26.8%

対象者全体(N=512)



対象者数 (%)	対象者数	必要性を感じていなかったから	受診する時間がなかったから	受診が面倒だから	対象年齢ではないから	いどこの歯科医院へ行ったらよいかわからなかったから	歯周病の治療中だから	検診の内容がよくわからなかったから	近くに歯科医院がないから	その他	無回答
対象者全体	512	26.8	19.1	13.1	12.7	9.8	8.0	6.6	0.4	21.7	6.4
《性別》											
男性	146	33.6	21.9	15.8	11.0	11.0	7.5	10.3	-	13.0	8.2
女性	365	24.1	17.8	12.1	13.4	9.3	8.2	5.2	0.5	25.2	5.8
《年代別》											
40歳～49歳	94	16.0	25.5	12.8	14.9	9.6	4.3	5.3	1.1	24.5	5.3
50歳～59歳	106	24.5	25.5	12.3	12.3	9.4	14.2	6.6	-	18.9	3.8
60歳～69歳	161	28.0	17.4	14.3	13.7	13.0	8.1	6.8	0.6	24.8	5.6
70歳以上	151	33.8	12.6	12.6	10.6	6.6	6.0	7.3	-	18.5	9.9

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】さっぽろ市歯周病検診を受診しなかった理由は、「必要性を感じていなかったから」が26.8%と最も高く、次いで「受診する時間がなかったから」が19.1%、「受診が面倒だから」が13.1%となっている。

【性別】「必要性を感じていなかったから」、「検診の内容がよくわからなかったから」は男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「必要性を感じていなかったから」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

## 後期高齢者歯科健診の認知度

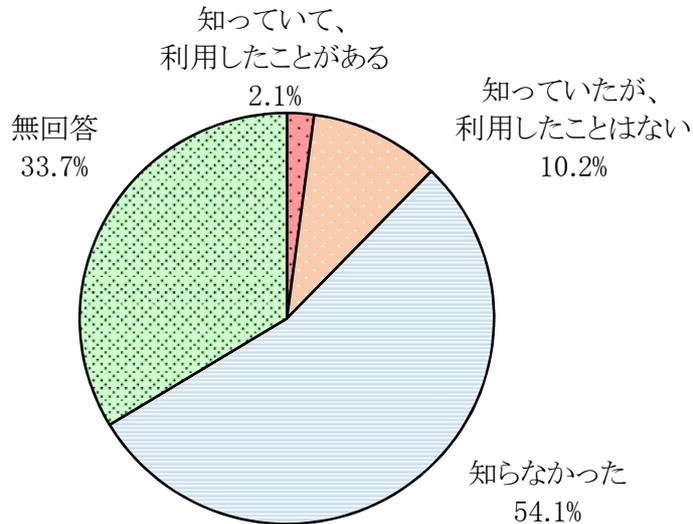
《北海道後期高齢者医療被保険者の方にお聞きます。》

【問25】 あなたは、「後期高齢者歯科健診」を知っていましたか。

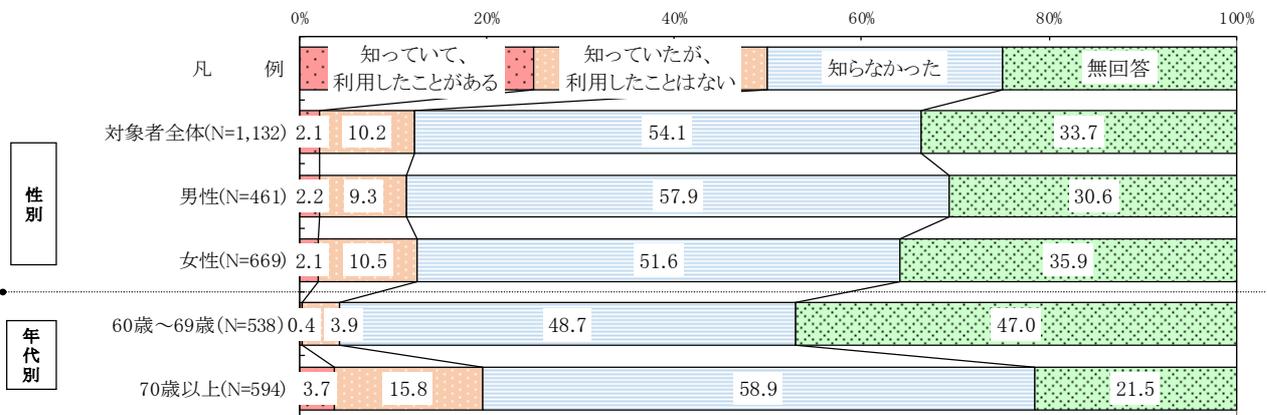
後期高齢者歯科健診を“知っていた”人は 12.3%

※“知っていた”(「知っていて、利用したことがある」+「知っていたが、利用したことはない」)

対象者全体(N=1,132)



【対象者全体】後期高齢者歯科健診について、「知っていて、利用したことがある」が 2.1%、「知っていたが、利用したことはない」が 10.2%、合わせると 12.3%となっている。一方で、「知らなかった」が 54.1%となっている。



【年代別】“知っていた”は 60 歳代が 4.3%、70 歳以上が 19.5%となっている。

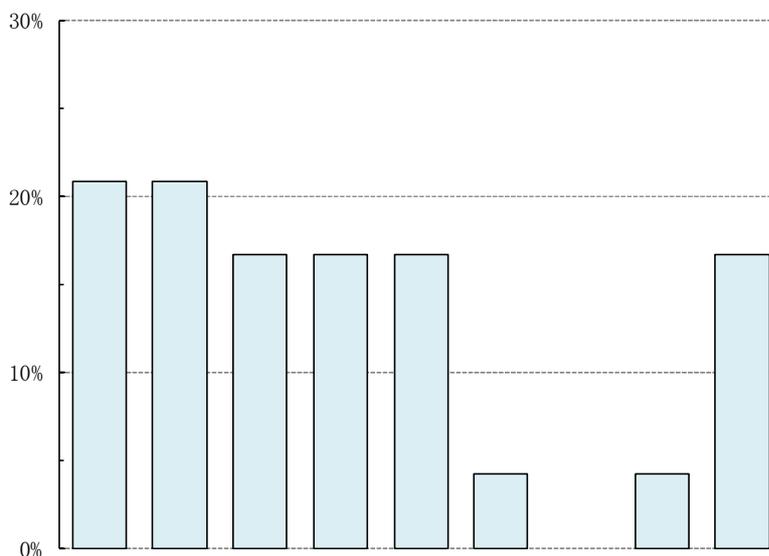
## 後期高齢者歯科健診を受診した理由

《問25で「1 知っていて、利用したことがある」と答えた方にお聞きします。》

【問25-1】 あなたが「後期高齢者歯科健診」を受診した理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

後期高齢者歯科健診を受診した理由は、「歯科医院で勧められたから」、「日頃から歯に気をつけているから」と回答した人が20.8%

対象者全体(N=24)



対象者数	対象者数	歯科医院で勧められたから	日頃から歯に気をつけているから	家族や友人などから勧められたから	必要性を感じていたから	行きやすいところに歯科医院があったから	400円で受診できるから	興味があったから	その他	無回答
(%)										
対象者全体	24	20.8	20.8	16.7	16.7	16.7	4.2	-	4.2	16.7
《性別》										
男性	10	30.0	10.0	30.0	10.0	30.0	10.0	-	-	20.0
女性	14	14.3	28.6	7.1	21.4	7.1	-	-	7.1	14.3
《年代別》										
60歳～69歳	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
70歳以上	22	22.7	18.2	18.2	18.2	18.2	-	-	4.5	18.2

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

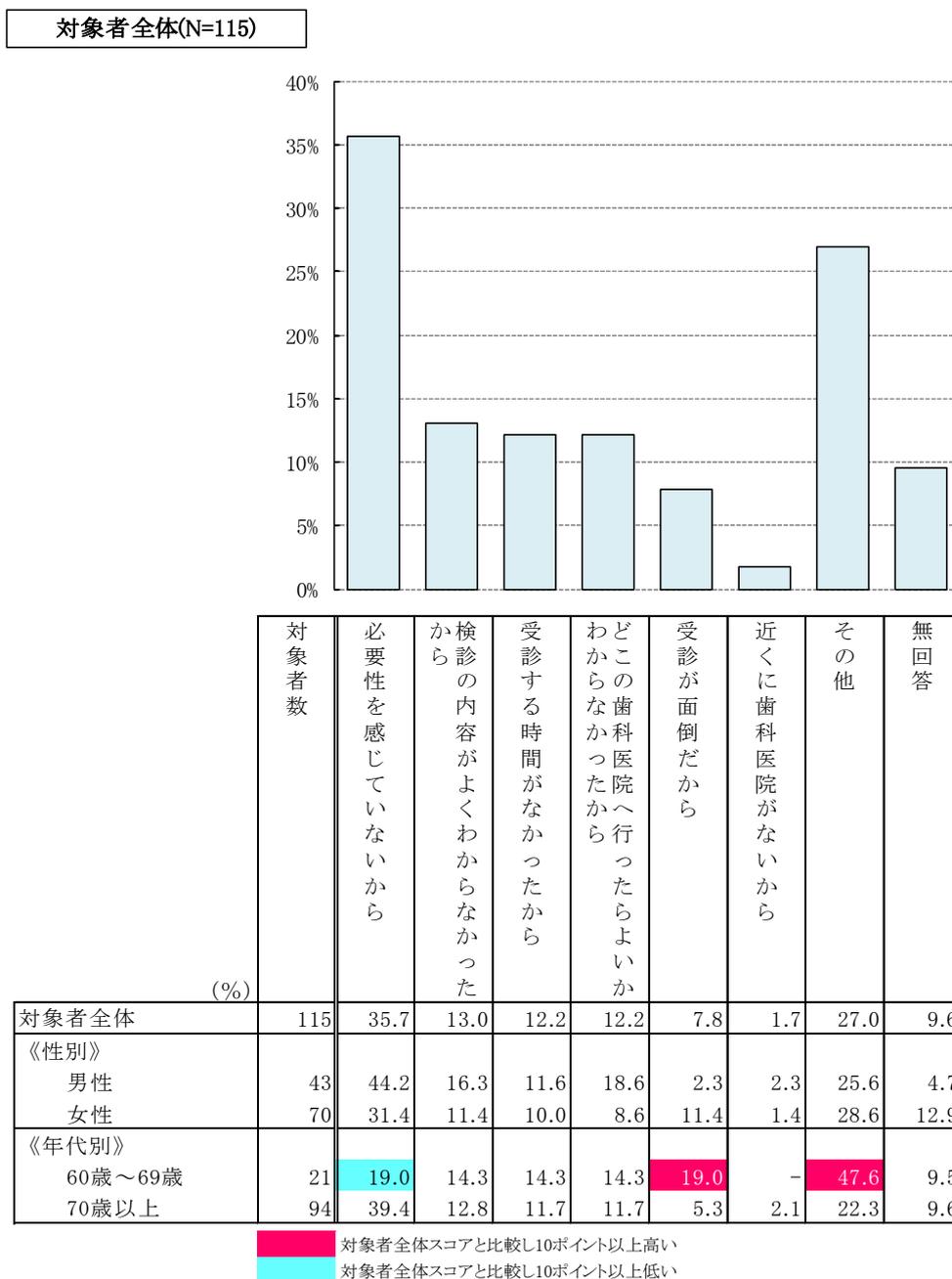
【対象者全体】後期高齢者歯科健診を受診した理由は、「歯科医院で勧められたから」、「日頃から歯に気をつけているから」が20.8%と最も高く、次いで「家族や友人などから勧められたから」、「必要性を感じたから」、「行きやすいところに歯科医院があったから」が16.7%、「400円で受診できるから」が4.2%となっている。

## 後期高齢者歯科健診を受診しなかった理由

《問25で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

【問25-2】 あなたが「後期高齢者歯科健診」を受診しなかった理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

後期高齢者歯科健診を受診しなかった理由は、「必要性を感じていないから」と回答した人が35.7%



【対象者全体】後期高齢者歯科健診を受診しなかった理由は、「必要性を感じていないから」が35.7%と最も高く、次いで「検診の内容がよくわからなかったから」が13.0%、「受診する時間がなかったから」、「どこの歯科医院へ行ったらよいかわからなかったから」が12.2%となっている。

【性別】「必要性を感じていないから」、「どこの歯科医院へ行ったらよいかわからなかったから」は男性が女性より10.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「必要性を感じていなかったから」は60歳代が19.0%、70歳以上が39.4%となっている。



# 調査票



令和元年度第1回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力のお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじびきのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ3種類（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和元年7月26日（金）までに、郵便ポストへ投函**してください。

ご不明な点やお問い合わせは  
札幌市総務局広報部市民の声を聞く課  
担当 井上 ☎ 211-2045 まで

## <ここから質問です。>

### テーマ1 食の安全・安心について

札幌市では、市民、生産者や販売者、札幌市が一丸となって、市民の皆さまが安全で安心な食生活を送ることのできるまちづくりを目指しています。そこで、皆さまの食の安全性への関心などをお聞きし、今後の食の安全・安心に向けた取り組みの参考とさせていただきます。

**問1** あなたが、食品の安全性で関心があることについて、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1 衛生管理          | }               | ⇒ <b>問1-1</b> へ |
| 2 食品添加物         |                 |                 |
| 3 残留農薬          |                 |                 |
| 4 品質管理          |                 |                 |
| 5 産地表示          |                 |                 |
| 6 アレルギー表示       |                 |                 |
| 7 放射性物質         |                 |                 |
| 8 食中毒予防         |                 |                 |
| 9 賞味期限・消費期限表示   |                 |                 |
| 10 その他 ( )      |                 |                 |
| 11 食品の安全性に関心がない | ⇒ <b>問1-3</b> へ |                 |

《**問1**で「1 衛生管理」から「10 その他」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

**問1-1** あなたは、食品の安全性に関する知識があると思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

- |             |   |                 |
|-------------|---|-----------------|
| 1 十分な知識がある  | } | ⇒ <b>問2</b> へ   |
| 2 ある程度知識がある |   |                 |
| 3 あまり知識がない  | } | ⇒ <b>問1-2</b> へ |
| 4 全く知識がない   |   |                 |

《**問1-1**で「3 あまり知識がない」または「4 全く知識がない」と答えた方にお聞きします。》

**問1-2** あなたが、食品の安全性に関する知識がないと思う理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                        |   |
|------------------------|---|
| 1 学ぶ機会がない              | } |
| 2 調べる方法がわからない          |   |
| 3 難しくて理解できない           |   |
| 4 調べてみたが、知りたい情報が見つからない |   |
| 5 自分で調べたり学んだりしたいとは思わない |   |
| 6 その他 ( )              |   |

《問1で「11 食品の安全性に関心がない」と回答した方にお聞きします。》

問1-3 あなたが、食品の安全性に関心がない理由について、次の中からあてはまるものにもいくつか○をつけてください。

- 1 実生活で困ったことがないから
- 2 おいしさや価格を優先するから
- 3 食品の生産者や製造者を信頼しているから
- 4 行政の安全性審査を信頼しているから
- 5 アレルギーなどの健康面での心配がないから
- 6 食中毒・食あたりなどの被害にあった経験がないから
- 7 その他 ( )
- 8 特に理由はない

《皆さまにお聞きします。》

問2 あなたが、食の安全・安心の確保のために取り組んでいることに、次の中からいくつか○をつけてください。

- 1 表示に関する必要な知識を身に付け、商品を選択する（購入する）
- 2 国や札幌市のホームページ・広報物を見て、知識と理解を深める
- 3 食の安全・安心に関する書籍で情報を収集する
- 4 食の安全・安心に力を入れているお店を選択する（利用・購入する）
- 5 食の安全・安心に力を入れているメーカーの商品を選択する（利用・購入する）
- 6 イベント等に参加する
- 7 その他 ( )
- 8 特に取り組んでいない ⇒ 問2-1 へ

⇒ 問3 へ

《問2で「8 特に取り組んでいない」と回答した方にお聞きします。》

問2-1 あなたが、食の安全・安心のための取り組みを行っていない理由について、次の中からあてはまるものにもいくつか○をつけてください。

- 1 知識が足りないから
- 2 面倒だから
- 3 メリット（利点）を感じないから
- 4 興味や関心がないから
- 5 機会がないから
- 6 時間がないから
- 7 その他 ( )
- 8 特に理由はない

《皆さまにお聞きます。》

札幌市では、「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して以下のような条例・計画を策定して、総合的かつ計画的に各種事業を実施しています。

●札幌市安全・安心な食のまち推進条例

市民・事業者・札幌市の三者による連携・協働により「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指すために策定した条例。

●安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画

条例に基づき、「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指してさまざまな取り組みを総合的かつ計画的に実施するために作成した計画。

計画年度は平成 27 年度～31 年度の 5 年間。

●食品等の自主回収報告制度

条例に基づき、平成 25 年 10 月 1 日より開始。札幌市内の食品関係の事業者が、自主的に食品等の回収に着手した際、札幌市に報告し、札幌市が公表する制度。

問3 あなたは、「札幌市安全・安心な食のまち推進条例」を知っていましたか。

- 1 条例の内容を知っていた
- 2 条例の内容は知らなかったが、条例があることは聞いたことがある
- 3 条例の内容を知らなかったし、条例があることも聞いたことがない

問4 あなたは、「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画」を知っていましたか。

- 1 計画の内容を知っていた
- 2 計画の内容は知らなかったが、計画があることは聞いたことがある
- 3 計画の内容を知らなかったし、計画があることも聞いたことがない

問5 あなたは、「食品等の自主回収報告制度」を知っていましたか。

- 1 制度の内容を知っていた
- 2 制度の内容は知らなかったが、制度があることは聞いたことがある
- 3 制度の内容を知らなかったし、制度があることも聞いたことがない

札幌市では、以下のような食品事業者をサポートする取り組みを行っており、各事業のロゴマークを活用した普及啓発などを行っています。

①札幌市食品衛生管理認証制度（さっぽろHACCP）

高度な衛生管理手法であるHACCP（ハサップ）に取り組む施設を認証する制度です。



②さっぽろ食の安全・安心推進協定

食の安全・安心に関する「マイルール」を決めて、札幌市と食品関係事業者・団体で協定を結び、その取り組みをPRする制度です。



**問6** あなたは、「札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)」を知っていましたか。

- |                               |   |                 |
|-------------------------------|---|-----------------|
| 1 制度の内容を知っていた                 | } | ⇒ <b>問6-1</b> へ |
| 2 制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない  |   |                 |
| 3 制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある |   | ⇒ <b>問7</b> へ   |
| 4 制度の内容を知らなかったし、ロゴマークも見なかった   |   |                 |

《**問6**で、「1 制度の内容を知っていた」「2 制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」「3 制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

**問6-1** あなたが、制度を知った又はロゴマークを見た場所や方法について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 札幌市ホームページ    | 2 食品事業者ホームページ     |
| 3 市が発行するパンフレット | 4 情報誌 (ポロコなど)     |
| 5 さっぽろオータムフェスト | 6 札幌駅前通地下広場 (チカホ) |
| 7 地下鉄電照広告      | 8 食品関連施設          |
| 9 その他 ( )      | 10 覚えていない         |

《皆さまにお聞きします。》

**問7** あなたは、「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を知っていましたか。

- |                               |   |                 |
|-------------------------------|---|-----------------|
| 1 制度の内容を知っていた                 | } | ⇒ <b>問7-1</b> へ |
| 2 制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない  |   |                 |
| 3 制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある |   | ⇒ <b>問8</b> へ   |
| 4 制度の内容を知らなかったし、ロゴマークも見なかった   |   |                 |

《**問7**で、「1 制度の内容を知っていた」「2 制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」「3 制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

**問7-1** あなたが、制度を知った又はロゴマークを見た場所や方法について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 札幌市ホームページ    | 2 食品事業者ホームページ     |
| 3 市が発行するパンフレット | 4 情報誌 (ポロコなど)     |
| 5 さっぽろオータムフェスト | 6 札幌駅前通地下広場 (チカホ) |
| 7 地下鉄電照広告      | 8 食品関連施設          |
| 9 その他 ( )      | 10 覚えていない         |

《皆さまにお聞きします。》

**問8** あなたが、これらのロゴマークを貼っている商品や店舗に対して持つ印象として、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1 安全性について信頼できる  | 2 優先的に利用・購入したい    |
| 3 おいしそう         | 4 厳正な安全性審査を通過している |
| 5 その他 ( )       | 6 特に印象がない         |
| 7 ロゴマークを見たことがない |                   |

**問9** 食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報について、あなたが受け取りたいと思う方法に、次の中からいくつでも〇をつけてください。

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1 「広報さっぽろ」への定期的な掲載 | 2 パンフレットの配布    |
| 3 ホームページへの掲載       | 4 SNS (※)      |
| 5 メールマガジン配信        | 6 食品関係のイベント    |
| 7 その他 ( )          | 8 受け取りたいとは思わない |

※ Facebook、Twitterなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

**問10** 食の安全・安心の確保のために札幌市が行う取り組みについて、次の中から、あなたが不足していると思うものにいくつでも〇をつけてください。

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1 食中毒対策               | 2 表示の監視        |
| 3 製造所などでの衛生指導         | 4 食品の抜き取り検査    |
| 5 事業者の自主的な衛生管理の推進     | 6 わかりやすい情報の提供  |
| 7 消費者、事業者、行政間の情報・意見交換 | 8 法令違反への厳しい対応  |
| 9 その他 ( )             | 10 不足していることはない |
| 11 わからない              |                |

**問11** 食の安全・安心の確保のために食品を扱う事業者が行う取り組みについて、次の中から、あなたが不足していると思うものにいくつでも〇をつけてください。

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1 自主的な衛生管理の推進         | 2 消費者、事業者間の情報・意見交換 |
| 3 わかりやすい表示の推進         | 4 食品の自主検査          |
| 5 食の安全・安心を推進していることのPR | 6 その他 ( )          |
| 7 不足していることはない         | 8 わからない            |

**問12** あなたは「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージを持っていますか。次の中から、あなたがもつイメージに近いものに1つだけ〇をつけてください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 持っている         | } ⇒ <b>問13</b> へ   |
| 2 どちらかといえば持っている |                    |
| 3 あまり持っていない     | } ⇒ <b>問12-1</b> へ |
| 4 持っていない        |                    |

《**問12**で、「3 あまり持っていない」または「4 持っていない」と回答した方にお聞きします。》

**問12-1** あなたが、「札幌の食」に対して、「安全・安心」というイメージを持っていない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも〇をつけてください。

- 1 不衛生な施設が営業しているから
- 2 食品表示のミスや食品へ異物が混入する事件が発生しているから
- 3 賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから
- 4 大規模な食中毒や、食中毒による死亡者が発生したことがあるから
- 5 その他 ( )
- 6 特に理由はない

## テーマ2 下水道に対する意識について

札幌市では、下水道の役割や重要性を理解してもらえよう、さまざまな情報発信を行っています。そこで、市民の皆さまが、下水道に対してどのような意識をお持ちなのかをお聞きし、今後の広報活動の参考とさせていただきます。

**問13** あなたの下水道に対する意識について、もっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1 意識している      | 2 たまに意識している |
| 3 ほとんど意識していない | 4 全く意識していない |

**問14** 札幌市の下水道に関する広報事業で、あなたが知っている事業はありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1 札幌市下水道科学館（展示物、下水道科学館フェスタ等のイベント含む）     |
| 2 パネルの展示やトークイベント等を実施する「下水道事業パネル展」       |
| 3 職業・消費体験をしてもらおうイベント「ミニさっぽろ」での下水道のお仕事体験 |
| 4 マンホール蓋をデザインした「マンホールカード」の配布            |
| 5 下水道や河川の風景を題材にした写真コンテスト                |
| 6 下水道に関する施策や事業を紹介する「出前授業（小学生対象）」や「出前講座」 |
| 7 札幌市公式ホームページに掲載している「札幌市下水道のページ」        |
| 8 知っている事業はない                            |

**問15** あなたは、下水道に関する情報を、どのような方法で入手したことがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 札幌市が発行している下水道に関するパンフレット、チラシ |
| 2 札幌市下水道科学館の展示やイベント           |
| 3 札幌市などが主催する下水道に関するイベント       |
| 4 札幌市下水道ホームページ                |
| 5 広報さっぽろ                      |
| 6 テレビ、ラジオ、新聞や雑誌等のメディア         |
| 7 その他（ ）                      |
| 8 入手する機会がなかった                 |

**問16** 下水道に関する情報について、あなたが受け取りやすいと思う方法は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけて下さい。

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 市民が目に触れるような場所にパンフレットやチラシを配架する |
| 2 市民が多く集まる場所で広報イベントを開催する        |
| 3 札幌市下水道ホームページなどのインターネットを活用する   |
| 4 広報さっぽろなどの札幌市の広報誌を活用する         |
| 5 テレビ、ラジオ、新聞や雑誌等のメディアを活用する      |
| 6 その他（ ）                        |
| 7 特にない                          |





《問24で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問24-3 あなたが「さっぽろ市歯周病検診」を受診しなかった理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1 対象年齢ではないから        | 2 歯周病の治療中だから              |
| 3 必要性を感じていなかったから    | 4 受診する時間がなかったから           |
| 5 近くに歯科医院がないから      | 6 どの歯科医院へ行ったらよいかわからなかったから |
| 7 検診の内容がよくわからなかったから | 8 受診が面倒だから                |
| 9 その他 ( )           |                           |

札幌市では、市内にお住まいの北海道後期高齢者医療被保険者（75歳以上の方または65歳から74歳で一定の障がいのある方）を対象に歯科健診を行っています。

《北海道後期高齢者医療被保険者の方にお聞きします。北海道後期高齢者医療被保険者ではない方はF1へお進みください。》

問25 あなたは、「後期高齢者歯科健診」を知っていましたか。

- |                    |   |       |   |
|--------------------|---|-------|---|
| 1 知っていて、利用したことがある  | ⇒ | 問25-1 | へ |
| 2 知っていたが、利用したことはない | ⇒ | 問25-2 | へ |
| 3 知らなかった           | ⇒ | F1    | へ |

《問25で「1 知っていて、利用したことがある」と答えた方にお聞きします。》

問25-1 あなたが「後期高齢者歯科健診」を受診した理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1 歯科医院で勧められたから        | 2 家族や友人などから勧められたから |
| 3 日頃から歯に気をつけているから     | 4 必要性を感じていたから      |
| 5 興味があったから            | 6 400円で受診できるから     |
| 7 行きやすいところに歯科医院があったから | 8 その他 ( )          |

《問25で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問25-2 あなたが「後期高齢者歯科健診」を受診しなかった理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1 必要性を感じていないから      | 2 受診する時間がなかったから           |
| 3 近くに歯科医院がないから      | 4 どの歯科医院へ行ったらよいかわからなかったから |
| 5 検診の内容がよくわからなかったから | 6 受診が面倒だから                |
| 7 その他 ( )           |                           |



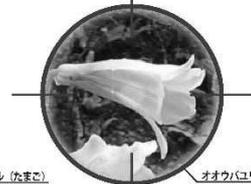
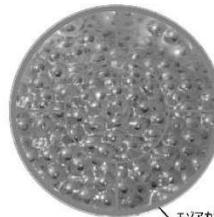
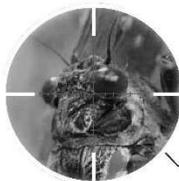
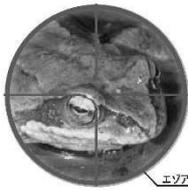
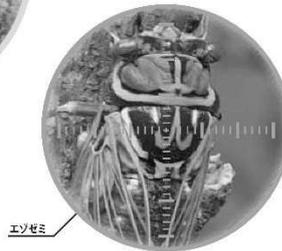
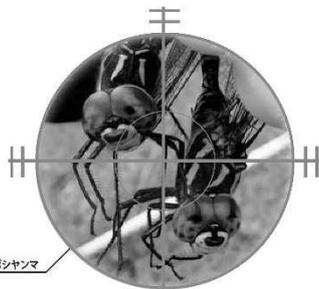
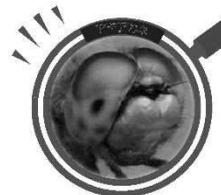
【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。



さっぽろ生き物さがしプロジェクト

○みらいを想う  
Think Green  
環境首都・札幌

# さっぽろ 生き物さがし 2019



じっしきかん  
実施期間

2019年 5月17日(金) ~ 9月30日(月)

札幌で見られる生き物の一斉調査「さっぽろ  
生き物さがし2019」の参加者を募集します!

※生物写真の一部は、過去の生き物さがし参加者提供の写真を  
使用しています。

報告締切 前期: 7月7日(日) [必着]  
後期: 10月7日(月) [必着]

専門家と一緒に生き物さがしができ  
る関連イベントにも参加してみよう!

さっぽろ生き物さがし2019  
in サッポロさとらんど  
◆日時 7月13日(土)  
10:00~12:30(予定)

札幌市 生物多様性 検索

調査の流れ



① 申し込み

メール、ファクスまたは郵便  
でお申し込みください。「手  
引き」と「報告シート」、「ミ  
ニ図鑑」をお送りします(ホ  
ームページからでも入手可)。

② しらべる

市内の大きな公園、山や水  
辺などで、調査対象の生き  
物をさがしてください。

参加者にはもちろんミニ図鑑を差し  
上げます。見分け方もっているよ。

③ 報告する

「報告シート」に調査結果  
を書いて、ホームページから  
入力、またはメール、ファク  
ス、郵便で事務局に送って  
ください。

結果まとめ

参加者には、結果をまとめ  
たニュースレター記念品を  
プレゼント(12月予定)。ホ  
ームページにも結果を掲載  
します。



★ ホームページ

http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/01chosa.html  
ホームページから結果を送ったり、分布マップを見ることができます。

電子メール sapporo-ikimono@cho.co.jp  
(事務局あて)

○さっぽろ生き物さがし2019事務局(さっぽろ自然調査館内)

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条7丁目1-45山岸ビル3階  
☎電話 011(892) 5306 ☎ファクス 011(892) 5318(担当: 渡辺・丹羽)

○主催 札幌市環境局 環境共生担当課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階  
☎電話 011(211) 2879 ☎ファクス 011(218) 5108